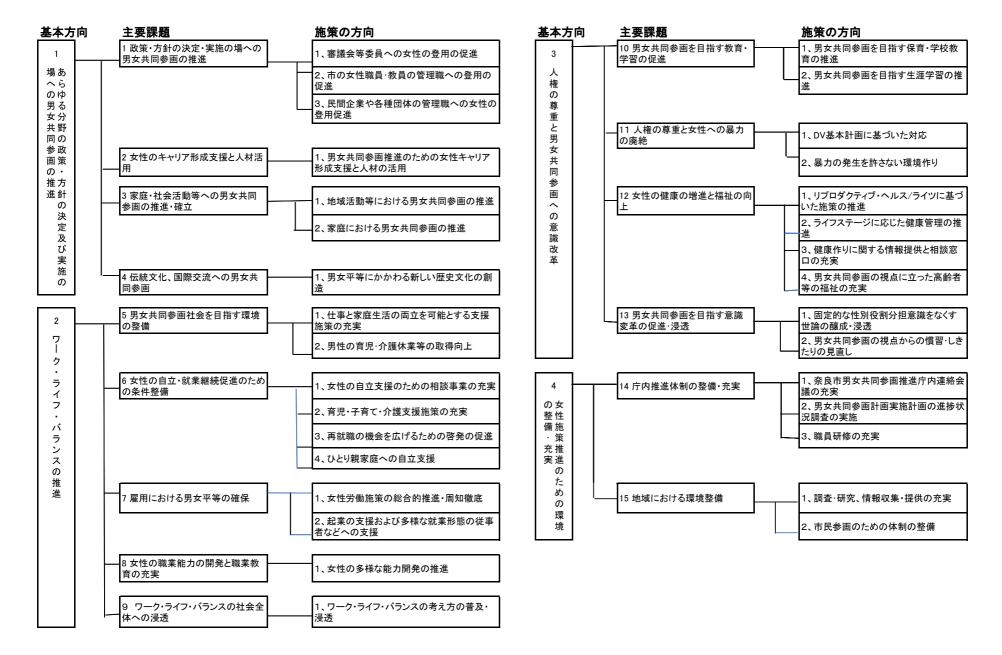
平成26年度

奈良市男女共同参画計画実施計画進捗状況報告書 (平成25年度実績)

奈良市男女共同参画課

計画の体系



主要課題 1 政策・方針の決定・実施の場への男女共同参画の推進

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
1-1	審議会等の女性委員の登用と委員 選出方法の見直し	公募制の導入や女性委員のいない審議 会をなくすための状況調査を行い、審議 会等の女性委員の登用促進を図る。	30%	平成23年7月現在 委員数1,237人(内女性 322人)26.0% 審議会等数38(内女性0のもの 20)	平成24年4月1日現在 委員数1,058人(内女性 261人)24.7% 審議会等数78(内女性0のもの 21)	平成25年4月1日現在 委員数672人 (内女性 208人)30.3% 審議会等数37(内女性0のもの 5) 女性委員数0の審議会等の担当課へ、積極的な登用を 薦めた。 *平成25年度より地方自治法202条の3及び条例に基 づく審議会の数値とする。	А	男女共同参画課 関係各課
審議会等委員への女性の登用の促進	審議会等委員の人材情報の提供	女性の人材情報を収集し、各課からの 女性委員候補者の情報提供に努める。		奈良市文書法制課や県で把握している審議会等委員の 選任状況調べや、女性人材情報パンクに登録されている 県内外各分野で活躍されている女性の人材情報を収集 し、各課からの女性委員候補者の情報提供に努めた。	奈良市文書法制課や県で把握している審議会等委員の 選任状況調べや、女性人材情報パンクに登録されている 県内外各分野で活躍されている女性の人材情報を収集 し、各課への女性委員候補者の情報提供に努めた。	奈良市文書法制課や県で把握している審議会等委員の 選任状況調べや、女性人材情報パングに登録されている 県内外各分野で活躍されている女性の人材情報を収集 し、各課への女性委員候補者の情報提供に努めた。	А	男女共同参画課
	企業・団体に対する女性の参画推 進の啓発	女性委員登用に向けて企業・団体への協力を要請し啓発に取り組む。		未実施	企業に向けた女性人材バンクの周知について、担当課と調整した。	企業に向けて、女性の登用の啓発及び周知方法を担当 課と調整したが、実施には至っていない。	А	男女共同参画課
1-2 中職 を負担 できまり 1-2 中職 を担 できまり 1-2 中職 を 1-2 中職	女性市職員の管理職への登用促進	男女雇用機会均等法の趣旨に沿って、 女性がその能力を十分に発揮できるよう、積極的に職域の拡大や能力開発に、 努めるともに、男性、女性を問わず、個人の能力や特性が生かし、意欲と能力 を有する有為な人材に活躍の場を与え るため、管理職子は試験の受験する機 会を広く設け職るなど、女性職員の管理職 への登用の拡充に努める。	10%	一般は分別競員の存職状況(全部局) (平成24年4月1日現在) 振展版 大長級 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 女 男 計 23年度 39 216 255 80 441 521 124年度 314 322 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 24年度 314 32 10 5 5 0 4 63 13 2 3 3 2 3 3 2 3 2 3 3 3 4 1 4 4 5 7 7 0 13 751 2 778	- 職位別職員の在職状況(全部局) (平成25年4月1日現在) 開位 部長級 次長級 課長級 (平度 女 男 前 女 母 女 男 前 女 母 女 男 前 女 女 男 前 女 女 男 前 女 女 男 前 女 女 男 前 女 女 男 前 女 女 母 女 母 前 女 女 母 本 女 母 女 母 本 女 母 女 母 本 女 女 母 本 女 母 本 女 女 母 本 女 女 母 本 女 女 母 本 女 女 女 母 本 女 女 女 女	単位別職員の在職状況(全部局) (平成26年4月1日現在) (平成26年4月1日現在) (平成26年4月1日現在) (平成26年度 1 1 158 168 168 1 1 158 168 1 1 158 168 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Α	人事課
	女性を対象としたリーダー育成研修	自治体経営等の重要政策分野、リーダーとしての役割等行政全般にわたり研修を実施することにより、リーダーとなる女性に必要な能力の向上を図る。 ・市町村アカデミー「ブラッシュアップ女性リーダー」等の派遣研修の実施(平成6年度~)	年間 1回	奈良県市町村職員研修センター「キャリアアップセミナー」 研修派遣 2名	奈良県市町村職員研修センター「女性職員エンパワー」研 修派遣 2名 奈良県女性支援課「キャリアアップセミナー」研修派遣 2 名 "「フォローアップセミナー」研修派遣 2 名	奈良県市町村職員研修センター「女性職員エンパワー」 研修派遣 1名 奈良県女性支援課「キャリアアップセミナー」研修派遣 2名 "「フォローアップセミナー」研修派遣 2名	А	人事課
	女性教員の管理職への登用	市立学校の校長、教頭への女性教員の 登用を促進する。		女性管理職者数 ※教頭は、中学校23人、高校2人 - 校長 教頭 登用率	女性管理職者数(平成24年度) ※中学校22校中1校は、小学校長兼務 ※小学校47校中1校は、中学校長兼務 ※教頭は、中学校23人、高校2人 「中学校2 (47 8 6 16.1% (42) 16.1% 「中学校2 (22 1 1 4.6% ※教授 (1 世紀) 0 0 0%	女性管理職者数(平成25年度) ※中学校22校中1校は、小学校長兼務、教頭兼務 ※小学校4枚中1校は、中学校長兼務 ※教頭は、中学校23人、高校2人	А	学務課 (平成25年度より 教職員課)
1-3 民間企業や各 種団体の管理	女性の活躍の場を広げるための啓 発	社会のあらゆる場面での女性の活躍の 場を広げるための啓発を図る。		女性輝き講演会(平成24年2月12日、参加者67名) 女性向け講座等の開催(12講座、延べ参加者502名)	女性向け講座等の開催(15講座、延べ参加者953名)	女性向け講座等の開催(15講座、延べ参加者524名)	А	男女共同参画課
職への女性の 登用促進	女性の登用促進啓発	「労政の手引き」を活用し、事業主等に 啓発を図る。		労働にかかる各種施策等について、市のホームページから情報を発信し啓発を行った。	労働にかかる各種施策等について、市のホームページから 情報を発信し啓発を行った。	労働にかかる各種施策等について、市のホームページから情報を発信し啓発を行った。	А	商工労政課

1

主要課題2 女性のキャリア形成支援と人材活用

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	女性団体・グループのネットワーク推 進事業	男女共同参画社会の実現をめざし、女性団体・グループのネットワークを図り、情報交換や研修を通じて、女性団体・グループの育成に努める。		なら女性ネットワーク (総会1回 研修会1回 第12回女性フェスティバルinな ら) 登録数7団体	なら女性ネットワーク (総会1回 研修会1回 女性フェスティパルinならファイナル) ル) 登録数6団体	未実施	А	男女共同参画課
	男女共同参画週間の啓発	男女共同参画週間(6月23日から29日 までの1週間)にちなみ、啓発事業を行 う。		市役所「階連絡通路において、バネル展示を行って啓発した。	市役所1階連絡通路において、パネル展示を行って啓発した。	市役所1階連絡通路において、パネル展示を行って啓発 した。	А	男女共同参画課
2-1 男女共同参 画推進のため の女性キャリ ア形成支援用	女性のエンパワーメントのための事業実施	共催事業を通じて女性団体が事業を企画・立案することにより女性のエンパワー メントを図る。		・地場連「いぐつになっても輝こう!」開催日 1月21日 開催日 1月21日 講師 辻代子氏 参加者 145名 ・女性ボランティア交流協会「日本書紀にみる男女の愛と葛藤」 開催日 ①平成24年1月25日②平成24年2月8日 講師 宮岡薫氏 ・なら女性ネットワーグ接首でに上手に関わるコツ」 開催日 平成24年1月26日 講師 津村薫氏 参加者 31名 ・国際ソロプチミ자まほろば「絵本といやしのひととき」 開催日 ①12月7日②平成24年2月15日 参加者 ①11月2回3名	講師 宮岡薫氏 参加者 ①38名②27名 ・女性ポランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と葛藤2」 開催日 ①平成25年1月30日②平成25年2月13日 講師 宮岡薫 参加者 ①51名②42名 ・なら女性ネッケーグ「世界で一冊手作り絵本セミナー」 開催日 平成25年3月9日 講師 山岸 漢大郎氏 参加者 11組(26名)	あすなら市民共産・ ・地場連「平成25年12月3日 開催日 平成25年12月3日 開催日 平成25年12月3日 開催日 平成25年10月17日②平成25年11月21日 講師 宮岡薫氏 参加者 ①49名 ②49名 ・女性ボランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と葛藤の道を が、J 開催日 平成25年5月23日 講師 宮岡薫氏 参加者 1884 交流協会「台湾女性とジェンダー」 開催日 平成25年5月23日 講師 宮岡薫氏 参加者 1884 交流協会「台湾女性とジェンダー」 開催日 平成25年9月28日 講師 奈良女子大学 野村 鮎子氏 参加者 26名・・奈良市あすなら起業の会やまとなでし、「願いを叶える脳の作り 方」 開催日 平成25年10月26日 講師 脳力研究家 浦谷 裕樹氏 参加者 55名	А	男女共同参画課

主要課題3 家庭・社会活動等への男女共同参画の推進・確立

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	女性の視点を取り入れた防災計画 の整備	女性の視点を取り入れた防災計画を整備し、防災及び復旧・復興の体制強化 を推進する。		極的な意見や見解を反映させるため、奈良市防災会議条例の委員定数を40名から45名に変更し、改選時期において女性委員の登用を目指す。		市民等の意見や見解を反映させるため、奈良市防災会	А	市民安全課 (平成24年度より 危機管理課)
	女性の視点を盛り込んだ防災用品 の整備	災害用備蓄品において、女性の視点から必要とされている品目の整備・充実を 図る。		今後も今まで同様に女性の視点を考慮しながら備蓄用品	用ミルク」及び「粉ミルク」を備蓄物資として追加整備した。 今後も今まで同様に女性の視点を考慮しながら備蓄用品	平成25年度に乳児を対象とした非常食である「非常備蓄 用ミルク」400セット及び「粉ミルク」400本を備蓄物資として整備した。今後も今までと同様に女性の視点を考慮しながら備蓄用品を整備する。	А	市民安全課 (平成24年度より 危機管理課)

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
3-1 地域活動等に おける男女共 同参画の推進	赤十字奉仕活動	赤十字奉仕活動を通じ、地域での助け合いや絆の大切さを実践し、地域活動の活性化を図る。		4月 国立医療所「邑久光明園」施設慰問(佐保川分団) 4月 第54回奈良市地区奉仕団基礎研修会 6月 奈良市地区泰士田基礎研修会 6月 奈良市地区泰士中季七団県外研修(和歌山県) 7月 赤十字奉仕団リーグー研修会 8月 第37回敵、味方供養碑追悼式 9月 2011分リンアップならキャンン(雨天中止) 9月 台風1号次書養援金募集活動 10月 右京地区防災訓練 12月 NHK海外たすけあい募金活動 12月 施設慰問用鉄火みそづくり及び施設慰問 1月 赤十字の紙芝居作成 3月 奈良市地区赤土宇奉仕団県外研修(愛知県) 予算額 320千円 決算額 320千円	4月 国立医療所「邑久光明園」施設敷間(都祁地区分団) 第55回奈良市地区奉仕団総会 5月 第8回近畿プロッグ書教助訓練 6月 奈良市地区泰仕団総会 6年 6月 第18回近畿プロッグ書教助訓練 6月 奈良市地区奉仕団基礎研修会 7月 赤十字奉仕団リーダー研修 8月 第38回廠・味方供養俸退偉式 9月 2012リージアップならやセンペン 9月 秋の交通安全運動市民決起大会 10月 赤い羽根共同募金運動 10月 奈良市地区泰十年第一年 12月 12月 20度の新加・ギンディア 12月 施設敷間用鉄火みそづく以及び施設敷間 12月 20度の新加・ギンディア 12月 施設敷間用鉄火みそづく以及び施設敷間 1月 20度の新加・ギンベーン ほか、各地区分団による分団一日赤十字等、随時開催 予算額 1、185千円	4月 国立医療所「邑久光明園」施設慰問(都祁地区分団) 第56回奈良市地区奉仕団総会 4月 春の交通安県民運動 6月 奈良市地区奉仕団建礎研修会 7月 奈良市地区泰仕団基礎研修会 7月 赤日市地区赤十字奉仕団県外研修(大阪府) 7月 赤十字奉仕団川一夕一研修 8日第33回敵 味方供養障追悼式 10月 奈良市戦没者追悼式 10月 奈良市戦没者追悼式 12月 NHK海外たすけあい 募金活動 12月 たらマラソンボランティア 12月 施設慰問用鉄火みそづくり及び施設慰問 1月 20歳の献血キャンペーン ほか 各地区分団による分団 一日赤十字等、随時開催 予算額 1,142千円	А	地域活動推進課
	奈良市スポーツ推進委員	指導者の資質向上を目指し各種研修 会を開催するとともに女性指導員の増 員を図る。(昭和48年度~)	登用率30%	平成23年度女性登用率 25% (委員84人中、内女性21人) 現在のスポーツ推進委員の委嘱期間は2年で、次回の改 選は平成24年度からであり登用率に変更はない。	平成24年度女性登用率 26.3% (委員80人中、内女性21人) 現在のスポーツ推進委員の委嘱期間は2年で、次回の改 選は平成26年度からであり登用率に変更はない。	平成25年度女性登用率 26.3% (委員80人中、内女性21人) 現在のスポーツ推進委員の委嘱期間は2年で、次回の改 選は平成26年度からであり登用率に変更はない。	А	スポーツ振興課
	託児付講座の開催	人権啓発事業の募集要項に託児希望 の事項を入れ、希望者がある場合には 託児所を設置する。(平成11年度~)		ハートフルシアター 内容: 映画 第五福竜丸」上映 実施日: 12月3日(土) 参加者数: 146人 託児所利用者数: 2人	ハートフルシアター 実施日: 12月1日(土) 内容: 映画「めぐみ」上映 参加者数: 123人 託児利用者数: 2人	ハートフルシアター 実施日: 12月7日(土) 内容: 映画「ふたたび」上映 参加者数: 100人 託児利用者数: 0人	А	人権政策課
	高齢者生きがいづくり事業	高齢者が生きがいを持って、心豊かな 生活を送るための事業を実施する。		各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした事業を 開催した。 ・北:2事業 19回 延べ624人 ・中:1事業 10回 延べ47人 ・東:7事業 62回 延べ804人 ・南:3事業 55回 延べ1,043人	各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした事業を 開催した。 ・北:2事業 21回 延べ860人 ・中:1事業 12回 延べ88人 ・東:12事業 78回 延べ1,218人 ・南:5事業 80回 延べ1,054人	各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした事業 を開催した。 ・北:2事業 20回 延べ681人 ・中:1事業 12回 延べ88人 ・東:12事業 63回 延べ1,736人 ・南:3事業 59回 延べ968人	А	人権文化センター
3-2	男性の家事・育児・介護等への参加 促進	男性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、家事・育児・介護等へスムーズに参加できるよう、学習の機会を提供する。		2講座 ・パベとわくわくクッキング!(全1回 参加者2組) ・男性のための料理教室(全3回 延べ参加者52名)	・かがやき講演会 (実施日:平成25年2月23日 演題:「前向きにまるく考える」 講師:落語家 林家 花丸氏 参加者:38名) ・お天気キャスター正木明さんに聞いてみよう「楽しいイクメン生活のコツ」 ※台国接近のため、中止 2講座 ・夏休み! 父子で楽しくクッキング(全1回 参加者10組) ・イチから始める男メシ! 男の料理教室(全3回 延べ参加者54名)	2講座 ・夏休みの思い出に☆父子(おやこ)クッキング(全1回参加者1組) ・男の料理教室(全3回 延べ参加者79名) ・シンポジウム「"イマドキ家族"の子育て〜笑ろてるパパママがええやん〜」 平成26年2月2日 講師:北京五輪メダリスト 朝原宣治氏他2名参加者 86名 ・映画上映会「ダブルシフト〜パパの子育て奮闘記〜」 平成25年6月29日 参加者 23名	А	男女共同参画課
家庭における男女共同参画の推進	生涯学習の充実	固定的性別役割分担意識を解消し、あらゆる分野における男女共同参画を推 進する公民館事業を展開する。男女が 多様な生き方の選択ができるよう広く意 識を浸透させる。		開催講座数:64講座 開催回数:354回 予算額:1,544千円 決算額:1,416,4千円	開催講座数:139講座 開催回数:632回 参加者数進×16,698人 予算額:2,996千円 決算額:3,016千円	開催講座数:172講座 開催回数:957回 参加者数:延べ26,120人 予算額:3,232千円 決算額:3,252千円	А	地域教育課 (平成25年度より 生涯学習課)

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	家庭教育の充実	学習内容に男女平等観に立った家庭生活や子どもの養育が行われるよう、家庭教育の充実を図る。女性の学習活動の進展と機会の充実を図り、女性を取り巻く諸問題を考える。(平成13年度~)	年間1回開	対象:市内在住・在勤の成人 (主に、小・中学生をもつ保護者)100人 参加者数:88人 話児利用者数:3人 予算額:100千円	実施目: 平成25年21月14日 対象: 市内在任: 在勤の成人 (主に、幼児〜小学生の保護者)80人 参加套数: 160人 予算額: 100千円 決算額: 100千円	①奈良市家庭教育講演会「ママも子どもも♪笑顔になるおかたづけ」 実施目:平成26年1月18日 対象:市内在住・在勤の成人(主に、3~5歳児の保護者)50人 参加者数:47人 ②奈良市家庭教育講演会「叱らず、問いかける~子どもをぐんぐん伸ばす対話カ~」 実施目:平成26年2月16日 対象:市内在住・在勤の成人100人 参加者数:76人 予算額:100千円 決算額:100千円		地域教育課 (平成25年度より 生涯学習課)

主要課題4 伝統文化、国際交流への男女共同参画

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	外国語ガイドブックの配布	外国籍市民が安心して日常の生活を送れるよう、市の制度だけでなく、日常必要な事例も案内する外国人向けガイドブックを希望者に配布する。		既存のもので対応	既存のもので対応	既存のもので対応	А	広報広聴課
	姉妹都市交流	姉妹都市親善体育大会の派遣受け入れを通じ、スポーツ交流の事業を推進し、女性の参加を推進する。		参加者:22人中、内女性9人 予算額:300千円 決算額:300千円 ・姉妹都市奈良市・慶州市親善ソフトテニス大会(受入)	- 姉妹都市奈良市・小浜市親善剣道大会(受入) 参加者:50人中、内女性22人 予算額:150千円 決算額:150千円 ・姉妹都市奈良市・小浜市親善ソフトポール大会(受入) 参加者:29人中、内女性15人 予算額:250千円 決算250千円	なし	А	スポーツ振興課
	海外の情報収集	男女共同参画に関する国際的な動向の 情報収集や図書資料の充実を図る。			男女共同参画関連図書の充実 蔵書数 809冊(内平成24年度購入分15冊)	男女共同参画関連図書の充実 蔵書数 811冊(内平成25年度購入分2冊)	А	男女共同参画課
4-1 男女平等にかかわる新しい 歴史文化の創造	市民交流事業	国際文化観光都市として、広く海外の諸都市との活発な親善活動の推進を図る	なし	「切味都市交流事業 事業名:2011慶州世界文化エキスポ「世界ダンスフェス ティバル」 概要上記事業に参加するとともに、奈良市から公演団 を派遣することで市民交流の輪を広げた。 実施日:9月25日~10月2日 参加者:市民公演団 概要上記事業に参加、奈良ブースを出展し、市民交 流の輪を広げた。 実施日:10月8日~10日 参加者:市民団 事業名:「2011西安世界園芸博覧会」 概要連野会において奈良県と合同で製作した日本庭 園を出展するとともに、奈良中、全局間に到れて伝統 芸能を披露するなどして西安市民との交流を深めた。 参加者:市民口 事業名:「2011西安世界園芸博覧会」 概要は野蛮とともに、奈良中、全局間で製作した日本庭 園を出展するなどして西安市民との交流を深めた。 参加者:市民公演団 決算額:8,110千円	「トレドウィーク」(平成24年12月11日~16日実施)	○姉妹都市交流事業 キャンペラ姉妹都市提携20周年・建市100周年を記念 して、キャンペラを訪問し日本酒のプロモーション等を行っ た。 実施日:平成25年10月24日~29日 決算額:6,336千円		観光戦略課

主要課題5 男女共同参画社会を目指す環境の整備

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	ワーク・ライフ・バランス庁内 実行計画策定	財政健全化のための職員の定員適正化計画 に伴う人員削減による職員の長時間勤務防止 のための実行計画を策定する。		実行せず。	実行せず。	実行せず。	А	人事課
活の岡立を可能とする支援施策の充実	自殺予防相談事業	わが国の自殺者は、平成10年以降毎年3万人を越えて推移している。自殺はいろいろな要因が重なった上で追い詰められた末の死ととらえ困りごとを早期に発見し解決できるように相談窓口の充実を図っていく。事業として①精神保健福祉相談②こころの健康相談③自死遺族等の相談④相談③な口の周知を実施する。自死遺族等の相談では、実施しているいのちの電話協会と協働する。		④自殺対策相談窓ロ一覧を研修会等通じて配布。また携帯用カードを作成し本庁内トイレやハローワークに設置。相談窓口についてはホームページにも掲載。	精神保健福祉相談の年間相談件数は 1,044件。臨床心理士による電話相談32 回、面接相談11回実施。自死遺族等の相 談については、電話相談50回、つどい12回 実施した。また、相談窓口の周知について は、自殺対策相談窓口一覧のホームページ 掲載と関係機関への配布依頼を実施。「こころの体温計」というストレスチェックからサイト 利用者に相談窓口の周知ができるシステム を10月に導入し、3月末までのアクセス数は 7万件であった。	・こころの健康相談 毎月第4月曜日午後 1時30分~午後4時30分:18件 うつ病専門相談 9月・12月・3月 末曜日午前9時~12時: 7件 ・こころの健康相談 第4以外の月曜日午 後1時30分~4時30分:20件 ・自殺予防市民講演会 平成25年10月12 日午後2時~4時:46人 ・自殺対策研修会 奈良市の管理職職 員 平成25年12月2日9時~:460人 ・奈良市職員ゲートキーバー研修 平成26 年1月21日午後2時~4時:21人 ・専門職員対象研修会 平成26年1月29 日午後2時~4時:24人	А	保健予防課
	子育て支援企業表彰事業	市内の企業・事業所における従業員の子育で 環境の充実を図り、社会全体で子育でを支援 する機運を高めるため、優良な企業に対し表 彰を行う。(平成23年度~)		年間1企業 決算額 149千円	年間1企業 決算額 134千円	年間1企業 決算額 134千円	А	商工労政課
	育児・介護休業制度の啓発	男性の利用率をアップさせるため、労働環境の整備や支援体制を充実させ利用できる各種制度等の周知を図るとともに、抵抗なく利用できるような意識の醸成のため、情報提供や相談体制の充実を図る。		制度の周知・定着を図るため啓発に努めた。	制度の周知・定着を図るため啓発に努めた。	制度の周知・定着を図るため啓発に努めた。	А	人事課
5-2 男性の育児・ 介護休業等の 取得向上	男性の家事・育児・介護等へ の参加促進(再掲)	男性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、家事・育児・介護等へスムーズに参加できるよう、学習の機会を提供する。			きにまるく考える」講師:落語家 林家 花	2講座 ・夏休みの思い出に☆父子(おやこ)クッキング(全1回 参加者1組) ・男の料理教室(全3回 延べ参加者79名) ・シンポジウム「"イマドキ家族"の子育て〜笑 ろてる/パママがええやん〜」 平成26年2月2日 講師:北京五輪メダリスト 朝原宣治氏他2 名 参加者 86名 ・映画上映会「ダブルシフト〜パパの子育て 奮闘記〜」 平成25年6月29日 参加者23名	А	男女共同参画課
	男性に育児・介護休業等の情報提供	「労政の手引き」を活用し、育児・介護休業法 等の法制度、解説等で啓発を図る。		労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	А	商工労政課

主要課題6 女性の自立・就業継続促進のための条件整備

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
		人権、社会問題や生活上での不安等に関する 相談に応じ、関係機関や専門相談窓口などへ の繋ぎとなる役割を果たす。			各人権文化センターにおいて相談事業を随 時実施した。	各人権文化センターにおいて、相談事業を 随時実施した。	А	人権文化センター

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
6-1 女性の自立支 援のための相 談事業の充実	女性問題相談	女性相談員を配置し、女性の様々な問題の視点に立ち、相談者の様々な問題解決に向け、相談を行う。	随時	女性問題相談 ・男女共同参画センターあすなら: 毎週月・ 火・水・金・土曜(午前10時~12時・午後1 時~4時) ・西部会館: 毎週月・水曜(午前10時~12 時・午後1時~4時) 相談員: 3人 件数: 3、495件(女性3.435件 男性60 件)(内DV相談103件)	時~4時) 西部会館:毎週月·水曜(午前10時~12 時·午後1時~4時) 相談員:3人	女性問題相談 男女共同参画センターあすなら: 毎週月・ 火・水・金・土曜(午前10時~12時・午後1 時~4時) 西部会館: 毎週月・水曜(午前10時~12 時・午後1時~4時) 北部会館: 毎週木曜(午前10時~12時・午 後1時~4時) 相談員3人 件数: 3.675件(女性3,536件 男性139件) (内DV相談146件)	А	男女共同参画課
	家庭児童·母子相談	子どもの養育などについての悩みごと、母子家庭の生活相談に応じ、適切な助言指導を与え、その解決を図る。	随時	家庭児童相談: 2,394件 母子相談: 1,238件	家庭児童相談:3,320件 母子相談:1,418件	家庭児童相談:2,259件 母子相談:1,471件	А	子育て相談課
	パートタイム労働法等の啓発	「労政の手引き」を活用し、パートタイム労働関係法令の制度、解説により啓発を行う。またホームページ等により相談窓口の紹介など、情報の提供に努める。		労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	А	商工労政課
	地域包括支援センター事業	高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で安心して生活できるように包括的・継続的な支援を行う。(平成18年度~)		10法人に対して11の地域包括支援センターの運営を委託 委託料総額 266,014,616円	10法人に対して11の地域包括支援センターの運営を委託 委託料総額 270,939,286円	10法人に対して11の地域包括支援センターの運営を委託 委託料 267, 323, 834円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	認知症サポーターの養成	国の認知症サポーター育成の取り組み「認知症サポーターキャラパン事業」に基づき、認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを育成する。(平成20年度~)		サポーター養成講座 29回 延べ1,067 人が参加。 啓発物品、教材購入 410,500円	サポーター養成講座 22回 延べ684人が 参加。 啓発物品、教材購入 31,400円	サポーター養成講座 49回 延べ1470人 が参加。 啓発物品、教材購入 34,700円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	認知症相談	認知症及び若年性認知症に関して、本人や家族からの相談に応じる。(平成21年度~)		毎週月曜日 10時から15時、市役所玄関ロ ビー「福祉なんでも相談窓口」で、認知症の 方やその家族の相談を行った。相談者数 延べ 99人 「認知症の人と家族の会」へ委託料 470,000円	毎週月曜日 10時から15時、市役所玄関ロビー「福祉なんでも相談窓口」で、認知症の 方やその家族の相談を行った。 相談者数 延べ 99人 「認知症の人と家族の会」へ委託料 440,000円	毎週月曜日 10時から15時、市役所玄関ロビー「福祉なんでも相談窓口」で、認知症の方やその家族の相談を行った。 相談者数 延べ156人 「認知症の人と家族の会」へ委託料 430,000円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	地域子育て支援センター	乳幼児とその保護者が集まり、お互いに交流 や、情報交換をしたりする場の提供や、選任指 薄員から、子育でに関するアバイスを受けるこ さもできる。また、地域に出向いての子育で支 援もしている。(平成16年度~)	設置箇所 数:9	設置箇所数: 6箇所	設置箇所数: 7箇所	設置箇所数: 7箇所	А	子ども育成課
	子育てスポットすくすく広場事 業	乳幼児とその保護者が集まり、お互いに交流を 図り、情報交換行い、乳児相談等を行ったり、 高齢者を含め異世代間での交流もできる場で ある広場事業を、東・西・南・北福祉センターの 一室にて実施している。(平成22年度~)	継続して実施します	設置箇所数: 4箇所	設置箇所数: 4箇所	設置箇所数: 4箇所	А	子ども育成課
	つどいの広場事業	主として乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い交流を図ったり育児相談等を行ったりする。(平成19年度~)	設置箇所数:8	設置箇所数: 5箇所	設置箇所数: 6箇所	設置箇所数: 7箇所	А	子ども育成課
	子育てスポット事業	公共施設の空スペースを利用して、月1~2 回、乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる 場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情 報の提供、講習会などを実施している。(平成1 9年度~)	設置箇所 数:40	設置箇所数: 25箇所	設置箇所数: 28箇所	設置箇所数: 30箇所	А	子ども育成課
	ファミリー・サポート・センター 事業	「育児の援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」を会員登録し、会員相互の有償での援助活動の連絡調整を行う。(平成16年度~)	設置箇所 数:1 支部の設置 を図ります	会員数: 1,098人	会員数: 1,279人	会員数: 1,498人	А	子ども育成課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	子育でサークル運営助成事 業	乳幼児を持つ保護者が集まり、子育てに関する学習や情報交換を行う子育てサークルに対し、子育てサークル活動費補助金を交付する。 (平成17年度~)	継続して実施します	交付団体数: 33団体	交付団体数: 35団体	交付団体数: 31団体	А	子ども育成課
	子育て短期支援事業	児童を養育している家庭の保護者が疾病や仕事等の事由により、児童の養育が一時的に困難となった場合に実施する。(平成7年度~)	ショイティス イス イス イス ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン ・アン	・ショートステイ事業 7日間(24時間預かり) 利用日数 211日 受入れ人数 46人 施設数 5 ・トワイライト事業 利用期間6月以内 14~ 22時の時間帯で1日4時間を限度 利用日数 1日 受入れ人数 1人 施設数 5	・ショートステイ事業 7日間(24時間預かり) 入所延日数 291日 依頼延人数 75 人 施設数 5 ・トワイライト事業 利用期間6月以内 14~ 22時の時間帯で1日4時間を限度 入所延日数 0日 依頼延人数 0人 施設数 5	・ショートステイ事業 7日間(24時間預かり) 入所延日数 330日 依頼延人数 78 人 施設数 6箇所 ・トワイラ小事業 利用期間6月以内 14~ 22時の時間帯で1日4時間を限度 入所延日数 0日 依頼延人数 0人 施設数 6箇所	А	子ども育成課
6-2 育児・子育て・ 介護支援施 策の充実	子育でサークル交流会(子育 て支援団体交流会)の開催	子育でサークルを運営する代表者を対象としてサークル同士のネットワーク作りや情報交換を行い、その交流を図る。またサークルの会員を対象として単独のサークルでは実施できないような子育て支援に関する講習会を開催する。	開催回数:6回	子育でサークル交流会 第1回(7月4日)対象:参加サークル 2団 体参加人数13人 第2回(10月7日)対象:参加サークル 1団 体参加人数20人 第3回(11月11日)対象:参加サークル 3 団体参加人数20人 第4回(1月24日)対象:参加サークル 3団 体参加人数13人 第5回(2月3日)対象:参加サークル 3団 体参加人数37人 第6回(3月18日)対象:参加サークル 3団 体参加人数50人	地域子育て支援センターが主体となり、サークルを含めた地域の子育て支援団体を対象にした交流会を年間6回開催した。	地域子育て支援センターが主体となり、サークルを含めた地域の子育て支援団体を対象にした交流会を年間7回開催した。	А	子ども育成課
	子育て支援アドバイザー事業	地域の子育て経験豊かな市民が乳幼児とその 保護者が集まる場所に出向き、母親のちょっと した育児の悩みや疑問について聞いてあげたり 一緒に考えてあげて少しでも育児の負担感を 軽減する。(平成18年度~)	派遣回数: 400回	登録者数: 149人 派遣回数: 209回	登録者数: 171人 派遣回数: 419回	登録者数: 136人 派遣回数: 553回	А	子ども育成課
	放課後児童健全育成事業	放課後児童の健全育成を図るために小学生を 対象に学童保育を充実させる。	利用児童数 2950人/日	42パンピーホームで学童保育を実施。 (利用者数:延べ 31,040人)	42パンピーホームで学童保育を実施。 (利用者児童数:2.625人/日)	月ヶ瀬、柳生、田原、興東の4箇所でバン ビーホームを開設。46パンビーホームで学童 保育を実施。 (利用児童数:平均2,799人/日)	А	子ども育成課 (平成24年度より 地域教育課)
	放課後児童クラブにおける障害児の受け入れ推進	放課後に就労等で保育のできない世帯の小学 生を対象に、バンビホームを開設しており、障が いの程度・内容に応じて指導員の加配をしなが ら、障害児の受け入れを推進する。	全バンビ ホーム(46 箇所)での受 け入れ充実 を図る。	バンビーホームにおける障がい児の受け入れ 35バンビーホーム、延べ人数 884人。	バンビーホームにおける障がい児の受け入れ 35バンビーホーム、受け入れた障がい児人 数 69人。		А	子ども育成課 (平成24年度より 地域教育課)
	通常保育事業	保育所において、保護者の労働または疾病などにより、保育に欠ける乳児又は幼児を預かり、保育を行う。	定員:6,500人	公立19園 2,211人 民間24園 3,096人 合計5,307名が入所した。	私立保育所24園 3,206人	公立保育所19園 2,551人 私立保育所26園 3,571人 合計6,122人が入所した。	А	保育課 (平成25年度より 保育所・幼稚園 課)
	延長保育事業	勤労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、11時間の保育所開所時間を越えて保育を行う。	実施園:41 園	民間22園で実施	私立保育所22園で実施	私立保育所23園で実施	А	保育課 (平成25年度より 保育所・幼稚園 課)
	一時預かり事業	專業主婦等の育児疲れ解消、急病や断続的 勤務・短時間勤務等の勤務形態の多様化に 伴い育児が断続的に困難となる場合に、一時 的に児童を預かり、保育を行う。	実施園:9園	民間8園で実施	私立保育所8園で実施	私立保育所9園で実施	А	保育課 (平成25年度より 保育所・幼稚園 課)

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	病児·病後児保育事業	保育所に通っている児童が病気の回復期で、 保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難 な場合に、その児童を預かり、保育を行う。	病児実施 園:2園 病後児実施 園:2園	民間1園で実施	病児保育を私立保育所1園で実施 病後児保育を私立保育所1園で実施	病児保育を市内医療機関2施設で実施 病後児保育を私立保育所2園で実施	А	保育課 (平成25年度より 保育所・幼稚園 課)
	休日保育事業	保育所において、日曜・祝日などに保護者の 勤務などで保育に欠ける乳児又は幼児がいる 場合に、その児童を預かり、保育を行う。	実施園:2園	民間2園で実施	私立保育所2園で実施	私立保育所2園で実施	А	保育課 (平成25年度より 保育所·幼稚園 課)
	夜間保育事業	保育所において、夜間、保護者の就労などで 保育に欠ける乳児又は幼児がいる場合に、そ の児童を預かり、保育を行う。	実施園:1園	民間1園で実施	私立保育所1園で実施	私立保育所1園で実施	А	保育課 (平成25年度より 保育所・幼稚園 課)
	子育て支援	保育所において、乳幼児の子育でに関する相談を行う。その他、園庭開放として在所児以外 (0歳児から3歳児)の親子を対象に遊び方を 教えたり、園児との交流を行う。	継続実施	保育所において、保育士による子育て相談を行った。 公立19園、民間10園で園庭開放を実施した。	保育所において、保育士による子育て相談を行った。 公立19園、民間11園で園庭開放を行った。	保育所において、保育士による子育て相談 を行った。 公立19園、民間11園で園庭開放を行っ た。	А	保育課 (平成25年度より こども園推進課)
	幼稚園における預かり事業	幼稚園での通常の教育時間外に、希望する園 児を対象に、預かり保育を実施する。	全38幼稚 園で実施	・全国で実施(各幼稚園の実態に応じた預かり保育の実施) ・実績39園中34園で実施。 ・実施日は、年間で最少3日〜最大160日・実施のベ人数は、年間で最少9人〜最大1 375人・認定こども園では、244日、5881人の預かり実施	・実績全38幼稚園で実施(各幼稚園の実態に応じた預かり保育の実施)・認定ことも園(2園)では、延べ245日、5,092人の預かり実施・幼稚園の預かり保育モデル園として富雄北、大宮(10月より実施)・富雄第三(1月から実施)の3園による預かり保育の拡充を実施 預かり利用者の述べ総数は1,980人	・全園で実施(各園の実態に応じた預かり保育の実施) ・認定こども園(2園)では、延べ243日、7,665人の預かり実施 ・幼稚園預かり保育事業として大宮、富雄北、富雄第三、伏見、大安寺西、六条幼稚園の6園で本格実施(チケット制) ・預かり保育事業の述べ総数は1,523人	А	学校教育課
	就業のための講座の開催	関係各課と連携しながら講座を実施し、就業に 結びつく技術の取得を図る。		女性のための再就職準備講座(全5回 延 べ参加者10名)	女性のための就職・再就職準備講座エクセル基礎(全3回 延べ参加者9名)	女性のためのパソコン講座エクセル基礎 (全4回 延べ参加者36名) ふたりで考えるマネープラン講座(全3回 延べ13名)	А	男女共同参画課
6-3 再就職の機会 を広げるため の啓発の促進	再就職のための情報提供	ホームページ等により再就職を希望する女性 に対し様々な情報提供を行う。		再就職に向けた講座のお知らせをホーム ページ、ちらし等で行った。	再就職に向けた講座のお知らせをホーム ページ、ちらし等で行った。	あすならで実施した女性のための各種セミナー受講者に対し、奈良県女性支援課の実施事業である「子育て女性就職相談窓口」のチラシを配布した。	А	男女共同参画課
	再雇用制度導入に向けての 啓発	「労政の手引き」を活用し、事業主及び勤労者 のための法制度、解説等で啓発を図る。		労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	А	商工労政課
	ひとり親家庭等医療費助成	対象者を「母子家庭」に加え「父子家庭」にも 拡大し、保険診療の自己負担金の1か月の合 計額から定額一部負担金を除いた額を助成し ている。(平成23年度~)	継続実施	· 受給者数 母子家庭 3,049世帯 7,243人 父子家庭 96世帯 250人 · 予算額 181,417,000円 · 決算額 179,743,274円	· 受給者数(H25.3.31現在) 母子家庭 3,242世帯 7,737人 父子家庭 137世帯 351人 · 助成額 予算額:185,300,000円 決算額:182,478,198円	· 受給者数(H26.3.31現在) 母子家庭 3,220世帯 7,694人 父子家庭 168世帯 427人 · 助成額 予算額:189,000,000円 決算額:174,450,363円	А	福祉医療課 (平成24年度より 子ども育成課)
	家庭児童・母子相談(再掲)	子どもの養育などについての悩みごと、母子家庭の生活相談に応じ、適切な助言指導を与え、その解決を図る。(昭和40年度~)	随時	家庭児童相談:2,394件 母子相談:1,238件	家庭児童相談:3,320件 母子相談:1,418件	家庭児童相談:2,259件 母子相談:1,471件	А	子育て相談課
	母子生活支援施設への保護等	配偶者のない女子、またはこれに準ずる事情 にある女子で児童の福祉に欠ける母子に入所 保護し、生活指導を行い、母子世帯の自立を 保ま	随時	入所世帯:10世帯(26人) 予算額:23,077千円 決算額:22,249千円	入所世帯:10世帯(29人) 予算額:24,077千円 決算額:22,900千円	入所世帯:9世帯(28人) 予算額:24,067千円 決算額:23,999千円	А	子育て相談課
	母子福祉団体の育成・指導	母子及び寡婦家庭の自立更正を援助する母子福祉団体への育成・指導を行う。(昭和25年度~)	随時	·奈良市梅華会 総会:1回 研修会:4回 予算額:160千円 決算額:160千円	· 奈良市梅華会 総会:1回 研修会:5回 予算額:144千円 決算額:144千円		B 24年度で終了	子育て相談課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	母子·寡婦福祉資金貸付	母子家庭及び寡婦の自立の助長と児童の福祉を増進するため、貸付を行う。(平成14年度 〜)	随時	新規貸付:23件 継続貸付:22件 予算額:41,637千円 決算額:19,063千円	新規貸付:27件 継続貸付:24件 予算額:85,000千円 決算額:75,895千円	新規貸付:23件 総続貸付:33件 予算額:29,303千円 決算額:20,659千円	А	子育て相談課
	母子家庭等日常生活支援事 業	母子家庭、父子家庭及び寡婦が修学等自立 のため必要な事由や疾病などの事由により、一 時的に生活援助や保育サービスが必要な場 合に家庭生活支援員を派遣する。(平成17年	随時	利用者数:3名 予算額:500千円 決算額:75千円	利用者:4名 予算額:500千円 決算額:138千円	利用者:14名 予算額:450千円 決算額:158千円	А	子育て相談課
6-4 ひとり親家庭 への自立支援	母子家庭等自立支援教育訓 練給付金事業	就職に向けて職業技能を身に付けるため、市 の指定する教育訓練講座を受講した母子家庭 の母に対し自立支援教育訓練給付金を支給 する。(平成16年度~)	20人	決算額:61,489千円 (母子家庭高等技能訓練促進費事業含む)	支給者数:9名 予算額:420千円 決算額:200千円	支給者数:10名 予算額:400千円 決算額:224千円	А	子育で相談課
	母子家庭高等技能訓練促進 費事業	就職に向けて職業技能を身に付けるため、看護師等の養成機関での修学を希望する母子家庭の母に対し高等技能訓練促進費を支給する。(平成16年度~)	30人	交付者数:42名 予算額:61,672千円 決算額:61,489千円 (母子家庭自立支援教育訓練給付金事業 含む)	支給者数:45名 予算額:63,010千円 決算額:62,130千円	支給者数:41名 予算額:61,827千円 決算額:49,173千円	А	子育て相談課
	母子家庭等就業・自立支援 センター事業 (奈良県スマイ ルセンター)	母子家庭、父子家庭及び寡婦の方を対象に 就業相談、就業支援講習会、就業情報の提 供等の一貫した就業支援サービスを提供す る。(平成23年度~)	随時	- 奈良県スマイルセンター 就業相談: 1,451件 就業支援講習会: 19名 就業情報提供: 724名 母子自立支援プログラム: 21名 予算額: 4,741干円 決算額: 3,794千円	- 奈良県スマイルセンター 就業相談:1,063件 就業支援講習会:10名 就業情報提供:883名 母子自立支援プログラム:35名 予算額:4,8374干円 決算額:4,271千円	- 奈良県スマイルセンター 就業相談: 1,332件 就業支援講習会: 12名(内修了者10名) 就業情報提供: 1,191名 母子自立支援プログラム: 50名 予算額: 4,803千円 決算額: 4,795千円	A	子育て相談課
	ひとり親家庭等自立促進計画 の策定及び計画の推進	ひとり親家庭等の生活の安定と向上のため、子育てや生活の支援、就職支援、養育費の確保済的支援などの施策等の促進計画を策定し、総合的かつ計画的に推進していく。(平成24年度~)		委員会:6回 ・奈良市ひとり親家庭等実態調査 対象者:4,349名 (日子家庭3,900世帯、父子家庭133世帯、 寡婦家庭316世帯) 調査基準日:平成23年9月1日 回収数:1,305票、回収率:30% 予算額:2,000千円 決算額:1,979千円	委員会:4回 奈良市母子家庭·父子家庭等自立促進計 画策定 予算額:2,200千円 決算額:2,152千円	推進庁内会議:3回 奈良市母子家庭·父子家庭等自立促進計 画実施計画策定 予算額:0円	A	子育で相談課
	公共賃貸住宅における母子世帯の優先入居制度の活用	市営住宅の空家募集において特定目的住宅 として母子世帯向け住宅枠を設定している。		平成23年度は、母子家庭向けの実績なし	母子世帯向け市営住宅2戸の入居者募集 を行った。 ・平成24年度5月募集 母子世帯向け枠1 戸募集 応募4件 ・平成24年度8月募集 母子世帯向け枠1 戸募集 応募13件	母子世帯向け市営住宅2戸の入居者募集を 行った。 ・平成25年度5月募集 母子世帯向け枠1 戸募集 応募7件 ・平成25年度11月募集 母子世帯向け枠1 戸募集 応募9件	A	住宅課

主要課題7 雇用における男女平等の確保

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
7-1 女性労働施 策の総合的推 進・周知徹底	女性就業に関する啓発事業	就業継続のためのスキルを身につけるための講座の開催や啓発事業を実施する。		・女性のパソコン(エクセル)講座(全5回 延べ参加者45名) ・女性のためのプレゼンテーション講座(全12 回 延べ参加者55名) ・女性のための話し方入門講座(全4回 延べ参加者68名) ・人間関係カアップセミナー(全2回 延べ参加者22名)	・女性のための就職・再就職準備講座エクセル基礎(全3回 延べ参加者9名)、女性のパソコン(エクセル)講座(全4回 延べ参加者35名)・女性のためのプレゼンテーション講座(全6回 延べ参加者50名)・女性のためのプレゼンテーション講座夜間	回 延べ参加者50名) ・女性のための話し方入門講座(午後)(全4 回 延べ参加者36名)	Α	男女共同参画課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績		今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
		「労政の手引き」を活用し、事業主及び勤労者のための制度、解説等で啓発を行う。		・労働にかかる各種施策等について、市のホームページから情報を発信し啓発を行った。		労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	А	商工労政課
		奈良市雇用促進連絡協議会と奈良市企業人権教育推進協議会との共催で事業主対象の 研修会を実施する。		人権啓発事業主研修会 演題:「企業におけるストレスとメンタルヘル ス分策」 参加者:市内事業所を対象に104名の参 加	人権啓発事業主研修会 演題:「コミュニケーションスキル研修」 参加者:市内事業所を対象に104名の参加	人権啓発事業主研修会 演題:「CSRと人権」 参加者:市内事業所を対象に86名の参加	А	商工労政課
		様々な分野での女性起業家に対して起業に関する相談・セミナーを開催し、支援を行う。		女性のための起業家支援セミナー (全6回 延べ参加者111名)	女性のための起業家支援セミナー (全6回 延べ参加者98名)	女性のための起業家支援セミナー (全6回 延べ参加者131名)	А	男女共同参画課
		「労政の手引き」を活用し、事業主及び勤労者 のための制度、解説等で啓発を行う。		・労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	・労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	・労働にかかる各種施策等について、市の ホームページから情報を発信し啓発を行っ た。	А	商工労政課
7-2 起業の支援お よび予様な就 業おを 者などへの支		ホームページ等により、相談窓口の紹介や就業支援情報の提供に努める。		・月1回(年間10回)若年者就労相談(無料)を実施・ホームページ等により、相談窓口の紹介・ハローワークからの求人情報を常備		・月1回(年間12回)若年者就労相談(無料)を実施・就労マッチング事業(セミナー・バスツアー)を実施・ホームページ等により、相談窓口の紹介・ハローワークからの求人情報を常備	А	商工労政課
接	女性農林業従事者の社会参 画の促准・地位向 F	女性農林業従事者の社会参画を進めるため、 男性の意識改革を含めた啓発と女性の経済 的基盤の強化と共に、農業協同組合、林業組 合等の女性の活動支援を行う。		奈良市女性林業研究会に出席 総会 1回 講習会3回	総会 1回	奈良市女性林業研究会に出席 総会 1回 講習会1回	А	農林課
		農業者の老後生活の安定及び福祉の向上を 図ると共に、農業者の確保に資する目的で農 業者年金の加入促進を図る。(平成7年度~)	農業委員会 会な員会 会が発行 (8,000部 2回/年)	・「なら農業委員会だより」(加入促進PR記事 の掲載)市内農家8,000部配布(年2回発 行) 予算額: 354千円 決算額: 206千円	- 「なら農業委員会だより」(加入促進PR記事の掲載)市内農家8,000部配布(年2回発行) 予算額: 320千円 決算額: 201千円	・「なら農業委員会だより」(加入促進PR記事の掲載)市内農家8,000部配布(年2回発行) 予算額: 286千円 決算額: 277千円	А	農業委員会事務局

主要課題8 女性の職業能力の開発と職業教育の充実

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
8-1 女性の多様な	女性就業に関する啓発事業(再掲)	就業継続のためのスキルを身につけるための講座の開催や啓発事業を実施する。		参加者39名) ・女性のパソコン(エクセル)講座(全5回 延 べ参加者45名) ・女性のためのプレゼンテーション講座(全12 回 延べ参加者55名) ・女性のための話し方入門講座(全4回 延	べ参加者35名) ・女性のためのプレゼンテーション講座(全6 回 延べ参加者50名) ・女性のためのプレゼンテーション講座夜間 (全6回 延べ参加者48名)	回 延べ参加者36名) ・女性のためのプレゼンテーション講座(全6 回 延べ参加者58名) ・女性のための話し方入門講座(午前)(全4 回 延べ参加者50名) ・女性のための話し方入門講座(午後)(全4 回 延べ参加者36名)		男女共同参画課
能力開発の推進	農林業生産・経営管理能力 の向上	女性農林業従事者が意欲を持って農林業に 主体的に参画できるよう、農林業生産や経営 管理能力の向上を目指した学習機会の提供 や環境作りを行う。		北和農村生活グループ協議会総会・研修会	奈良市女性林業研究会に出席 研究会 1回 北和農村生活グループ協議会総会・研修会 等に参加	奈良市女性林業研究会に出席 研究会 1回 北和農村生活グループ協議会総会・研修会 等に参加	А	農林課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	交替制勤務における女性職員の職域拡大を図る	女性救急救命士を養成し、交替制勤務における職域拡大を推進する。(消防局では平成18年より女性の交替制勤務始まる23年5月女性救急救命士誕生)		・救急救命士養成課程を受講した女性職員 1名 ・救急救命士資格を取得した女性職員 2 名	・救急救命士資格取得した女性職員1名、・女性職員の救急救命士合計3名・交替制勤務従事者3名	・女性職員の救急救命士合計3名・交代制勤務従事者3名・西消防署に女性仮眠室を新設	А	消防局総務課
		救急自動車を含む消防車両の機関勤務員資格について、女性の資格者を育成し職域拡大 を推進する。(平成20年4月1日女性機関員 誕生)		・平成23年度に2級機関勤務員資格を取得 した女性職員 4名 ・2級機関勤務員有資格女性職員(平成24 年3月31日現在)8名		・2級機関勤務員有資格者女性職員8名	А	消防局総務課

主要課題9 ワーク・ライフ・バランスの社会全体への浸透

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
9-1 ワーク・ライフ・ バランスの考 え方の普及・ 浸透		職場や家庭や地域において、多様な生き方ができるようになるワーク・ライフ・パランスを推進する意識の醸成を図る。(23年度~)		(実施日:12月3日 講師:佐々木常夫氏	段取りカアップ講座 (実施日:2月16日 参加者:38名)	・シンポジウム"イマドキ家族"の子育て〜笑ろてるパパママがええやん〜 (実施日:平成26年2月2日 講師:北京五輪メダリスト 朝原 宣治氏他2名 参加者:86名)		男女共同参画課

主要課題10 男女共同参画を目指す教育・学習の促進

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	保育内容の充実	子どもの人権を十分配慮し、多様な保育 ニーズ及び子育て支援等のサービスに対 応するため、保育所に勤務する職員を対 象に研修を実施し、資質向上を図る。	継続実施	すべての就学前の子どもに質の高い教育、保育を提供レ小学校への円滑な接続を図ることを目的に「保育園職員研修会」を開催した。 子算額:2,492,000円 決算額:1,440,000円		すべての就学前の子どもに質の高い教育、保育を提供し、小学校への円滑な接続を図ることを目的に「保育園職員研修会」を開催した。 予算額:2,391,000円 決算額:1,436,000円	А	保育課 (平成25年度より こども園推進課)
	幼稚園の子育て相談機能 の充実	子育ての悩みや相談を、現職教員や教職経験者などが、在園児保護者や在園児以外の保護者を対象に行う。	全38幼稚園 で実施	・在園児保護者に、月1回程度の保育参観や学級 懇談、個人懇談においての子育て相談の実施 ・各園における実態に応じて、学識経験者による子 育ての内容による講演会の実施(39園中数園)	談、個人懇談においての子育て相談の実施	・在園児保護者に、月1回程度の保育参観や学級懇談、個人懇談においての子育て相談実施・各園の実態に応じて、学識経験者による子育て内容の講演会の実施(全園中数園)	А	学校教育課 (平成25年度より こども園推進課)
	中学生の乳幼児ふれあい 体験の充実	結婚や子育てに関する肯定的な感情を 育てるため、中学生が幼稚園や保育園の 乳幼児と触れ合う体験を通して、乳幼児 の生活に関心を持ち、子どもや家庭の大 切さを理解してもらう。	全22校で実 施	- 22校中21校で実施 - 職場体験学習の一貫として実施 - 主に中2で実施のため、新設の富雄第三中学校は 実施していないが、平成24年度は実施予定	・全22校で職場体験学習の一貫として実施	・全22校で職場体験学習に一環として実施	А	学校教育課
男女共同参 画を目指す 保育・学校教 育の推進	指導方法の研修・研究の 充実	男女共同参画の理念もふまえて、各教科 や領域の中で学習指導を展開して行う。	小学校47校 中学校22校 高等学校1校 で実施	・各教科や領域の中で、学習内容や方法に工夫を加えながら学習指導を進めた。	・各教科や領域の中で、学習内容や方法に工夫を加えながら学習指導を進めた。	・各教科や領域の中で、学習内容や方法に工夫を加えながら学習指導を進めた。	А	学校教育課
	人権学習教材資料の作 成	あらゆる人権問題を解決するために、幼児・児童生徒用の発達段階を考慮した人権学習教材を作成し活用を図る。	幼稚園全教 員に配布	「みんななかま」を作成 幼稚園全教員に配付 作成部数300	「みんななかま」を作成 幼稚園全教員に配付 作成部数300	・幼児用「みんななかま」を作成し幼稚園・保育園の各学級数を配付。作成部数500。 ・児童生徒用「よりそい高め合う学習を」を作成し全小中学校教員に配布。作成部数2100。	А	学校教育課
	管理職研修の充実	校園長及び教頭を対象とした研修で、男 女共同参画による学校運営についての意 識化を図る。		講座数:13講座	講座数:12講座	講座数:11講座	А	教育支援課
	教職員研修の充実	教職員を対象とした研修で、男女共同参画による学校運営についての意識化を図る。		講座数:319講座	講座数:284講座	講座数:247講座	А	教育支援課
	特別支援教育相談事業	教育センターを核とした教育相談を充実させ、特別な支援を必要とする子どもたちや 保護者の相談や指導、発達検査等を実施する。		相談件数 660件 賃金 予算 6,248千円 決算 5,800千円	教育相談員4名 相談の中で障がい特性に応じた家庭での支援方法	特別支援教育についての来所相談件数1117件 教育相談員4名 特別な支援を必要とする子どもたちや保護者・教員の 相談や訪問観察・発達検査を行う中で障がい特性に 応じた家庭・園・学校での支援法や、子育でについて の助言を行っている。	А	教育相談課
	地域における男女共同参画の推進事業	奈良市人権教育推進協議会の活動を通じて地域における男女共同参画の推進を図る。(昭和48年度~)		地区別研修会 52地区 参加者数 2,521人 ぶらり散歩(人権ゆかりの地巡り) 18地区 参加者 数 602人 指導者講座 5回 参加者数 321人	【地区別研修会】38地区 参加者数:1,138人 【ぶらり散歩】15地区 参加者数:327人 【指導者講座】4回 参加者数:262人	【地区別研修会】40地区 参加者数:1,247人 【ぶらり散歩】18地区 参加者数:434人 【指導者講座】4回 参加者数:198人	А	人権政策課
_	高齢者生きがいづくり事業 (再掲)	高齢者が生きがいを持って、心豊かな生活を送るための事業を実施する。		各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした 事業を開催した。 ・北:2事業 19回 延べ624人 ・中:1事業 10回 延べ47人 ・東:7事業 62回 延べ804人 ・南:3事業 59回 延べ1,043人	各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした 事業を開催した。 ・北:2事業 21回 延べ660人 ・中:1事業 12回 延べ88人 ・東:12事業 78回 延べ1,218人 ・南:5事業 80回 延べ1,054人	各人権文化センターにおいて、高齢者を対象とした事業を開催した。 ・北:2事業 20回 延べ681人 ・中:1事業 12回 延べ88人 ・東:12事業 63回 延べ1,736人 ・南:3事業 59回 延べ968人	А	人権文化センター
	女性学級	女性の社会参加が急速に進む中、女性の自主的な学習意欲に基づき豊かな人間性を培い、社会人としてその資質や能力を向上させる学習機会を提供する。		各人権文化センターにおいて、女性を対象とした事業を開催した。 ・中:1事業 18回 延べ127人 ・東:2事業 16回 延べ241人	各人権文化センターにおいて、女性を対象とした事業を開催した。 ・中:1事業 16回 延べ84人 ・東:2事業 11回 延べ205人	各人権文化センターにおいて、女性を対象とした事業 を開催した。 ・中:1事業 16回 延べ84人 ・東:2事業 18回 延べ230人	А	人権文化センター

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
10-2	講座・教室の開催	講座や教室を開催し、その中で男女共同参画を目指す生涯学習を推進する。		各人権文化センターにおいて、各種教室・講座を開催した。 ・北:5講座 41回 延べ1,117人 ・中:4講座 35回 延べ112人 ・東:8講座 110回 延べ1,116人 ・南:2講座 26回 延べ157人	各人権文化センターにおいて、各種教室・講座を開催した。 ・北:9講座 98回 延べ2,213人 ・中:4講座 12回 延べ82人 ・東:5講座 28回 延べ435人 ・南:2講座 27回 延べ135人	各人権文化センターにおいて、各種教室・講座を開催 した。 ・北:9講座 98回 延べ2,157人 ・中:4講座 12回 延べ82人 ・東:5講座 28回 延べ471人 ・南:1講座 24回 延べ119人	А	人権文化センター
男女共同参 画を目指す 生涯学習の 推進	保育内容の充実(再掲)	子どもの人権を十分配慮し、多様な保育 ニーズ及び子育て支援等のサービスに対 応するため、保育所に勤務する職員を対 象に研修を実施し、資質向上を図る。	継続実施	供しい学校への円滑な接続を図ることを目的に「保育園職員研修会」を開催した。 予算額:242.000円 決算額:1,440,000円		供し、小学校への円滑な接続を図ることを目的に「保育園職員研修会」を開催した。 予算額:231,000円 決算額:1,436,000円	А	保育課 (平成25年度より こども園推進課)
	生涯学習の充実(再掲)	固定的性別役割分担意識を解消し、あらゆる分野における男女共同参画を推進する公民館事業を展開する。男女が急歩な生き方の選択ができるよう広く意識を浸透させる。		開催講座数:64講座 開催回数:354回 第6章:1,544千円 決算額:1,416,4千円	開催講座数:139講座 開催回数:632回 参加者数:延べ16,698人 予算額:2,996千円 決算額:3,016千円	開催講座数:172講座 開催回数:957回 参加者数:並べ26,120人 予算額:3,232千円 決算額:3,252千円	А	地域教育課 (平成25年度より 生涯学習課)
	家庭教育の充実(再掲)	学習内容に男女平等観に立った家庭生活や子どもの養育が行われるよう、家庭教育の充実を図る。 女性の学習活動の進展と機会の充実を図り、女性を取り巻く諸問題を考える。(平成13年度~)		奈良市家庭教育講演会「耐えて克つ!心の野球」 実施: 市内成24年1月21日 対象: 市内在住・在勤の成人 (主に、小・中学生をもつ保護者)100人 参記月利用者数:38人 話児利用者数:38人 予算額:100千円 決算額:100千円	奈良市家庭教育講演会「食で育む生きる力〜台所育児のすすか〜」 実施日:平成25年3月14日 対象:市内在住・在勤の成人 (主に、幼児〜小学生の保護者)80人 参加者数:65人 予算額:100千円 決算額:100千円	①奈良市家庭教育講演会「ママも子どもも♪笑顔になるおかたづけつ 実施日:平成26年1月18日 対象:市内在住・在動の成人(主に、3~5歳児の保護 者)50人 参加者数:47人 ②奈良市家庭教育講演会「叱らず、問いかける~子 どもをぐんぐん伸ばす対話カ~」 実施日:平成26年2月16日 対象:市内在住・在動の成人100人 参加者数:76人 予算額:100千円 決算額:100千円	А	地域教育課 (平成25年度より 生涯学習課)
	図書資料貸出	図書館資料を充実し、閲覧及び貸出に供する。		- 事業の推進にかかる図書資料を充実し、男女年齢を問わず幅広い利用者の閲覧及び貸出があった。	・事業の推進にかかる図書資料を充実し、男女年齢を問わず幅広い利用者の閲覧及び貸出があった。	- 事業の推進にかかる図書資料を充実し、男女年齢を問わず幅広い利用者の閲覧及び貸出があった。	А	中央·西部·北部 図書館

主要課題11 人権の尊重と女性への暴力の廃絶

施策の方向	事業名		平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
11-1 DV基本計画 に基づいた 対応	DV対策の充実	「DV基本計画」に基づく被害者支援に取り組む *別冊で管理		*別冊で管理	*別冊で管理	*別冊で管理	А	男女共同参画課 関係各課
	に対する社会の認識を深 めるための啓発活動及び	「職場におけるセクシュアル・ハラスメントの 防止に関する指針」に基づきセクシュア ル・ハラスメントの防止とその啓発を図ると ともに、発生した事案に対しては適切に対 処する体制の整備・充実に努める。		指針に基づき啓発を図るとともに、発生した事案に 対して事実関係の把握を行い適切に対処した。	指針に基づき啓発を図るとともに、発生した事案に対して事実関係の把握を行い適切に対処した。	指針に基づき啓発を図るとともに、発生した事案に対して事実関係の把握を行い適切に対処した。	А	人事課
11-2 暴力の発生	犯罪被害者支援センター 支援事業	犯罪被害者支援ネットワークに加盟し、犯罪被害者支援センターを支援する。		犯罪被害者支援ネットワーク性被害者支援専門部 会参加 1回	犯罪被害者支援ネットワーク性被害者支援専門部 会に参加	犯罪被害者支援ネットワーク性被害者支援専門部会に参加した。 日時:11月8日(金)午後2時から午後5時まで 場所:奈良県警察本部4階第一会議室 内容:「性暴力被害者を理解するために」メンタルカ ウンセラー 柳谷 和美 氏	А	人権政策課
を許さない環境づくり	暴力の発生を許さない環 境づくりの啓発	身近にある全ての暴力に対して許さないという意識作りのための啓発を図る。			職員向けDV研修(4回実施 参加者772名) DV啓発ポスターを作成して、DV週間において啓 発。 男性のための1日電話相談(DVなど)(11月17日実 施)	職員向けDV研修(2回実施 参加者381名)	А	男女共同参画課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
		相談窓口や相談機関等について、市民へ の周知に努める。		女性問題相談室リーフレット(9,000部)、DV・デート DV啓発リーフレット(30,000部)およびカード (20,000部)の作成・配布	女性問題相談室ポスターの作成・配布 (配布先:生涯学習センター、西部公民館、ファミリー サポートセンター、都祁行政センター、本庁あすなら コーナー)	英語版DVリーフレットを作成し、関係機関に配布 3,000部	А	男女共同参画課
		高齢者虐待に関する相談や介護ストレス を抱え悩んでいる家族に対して相談に応 じる。			地域包括支援センターにおいて、虐待が疑われる ケースについては、他機関とも連携しながら家族への 支援や相談を行った。	地域包括支援センターにおいて、虐待が疑われる ケースについては、他機関とも連携しながら家族への 支援や相談を行った。	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	1. 接改公事業主団枚問	奈良市雇用促進連絡協議会と奈良市企業人権教育推進協議会との共催で事業 主対象の研修会を実施する。		人権啓発事業主研修会 演題:「企業におけるストレスとメンタルヘルス対策」 参加者:市内事業所を対象に104名の参加	人権啓発事業主研修会 演題:「コミュニケーションスキル研修」 参加者:市内事業所を対象に104名の参加	人権啓発事業主研修会 演題:「CSRと人権」 参加者:市内事業所を対象に86名の参加	А	商工労政課
	相談業務(窓口)の啓発と 充実	児童・生徒に対するいろいろな悩みに答えるための相談業務(窓口)の啓発と相談体制の充実(女性相談真の配置等)を図るとともに、関係機関と連携してその効果的な対応と解決を図る。		平成23年度の相談実績780件 うち数件は「女性の相談員はいらっしゃいますか」と 尋ねられ、学校教育課内ではあるが他の係の指導 主事に相談を受けてもらったことがあった。 (平成24年度は保に女性相談員を配置、対応してい る。)	平成24年度の相談実績617件 (平成24年度より配置された女性指導主事により、女性の相談者への対応や女性の視点での助言や指導を行っている。)	平成25年度の相談実績 631件 (平成24年度より配置された女性指導主事による、女性の視点での助言や指導が効果をあげている。)	A	学校教育課
	街頭指導活動の強化	各中学校区において少年指導委員等に よる街頭指導を実施し、青少年の行動実 態把握に努め、問題行動に関わる青少年 に対し、学校及び関係機関と連携して指 導を行う。	街頭指導 実施回数 1200回	奈良市教育委員会が委嘱する少年指導委員の半 教以上が女性指導員であり、子どもの安全・安心を 守るための活動や青少年の健全育成のための活動 に参加・活躍している。 1,119回	以上が女性指導員であり、子どもの安全・安心を守る	奈良市教育委員会が委嘱する少年指導委員の半数 以上が女性指導員であり、子どもの安全・安心を守る ための活動や青少年の健全育成のための活動に参加・活躍している。 1,077回	А	学校教育課
	有害環境への立入調査及	警察との連携・協力の下に青少年に有害 な図書やビデオ等を販売する店舗に対 し、販売の自主規制や展示場所の適正化 を求めるため、立入調査指導を実施す る。	調査 実施回	少数であるが、女性が活動に参加することで、女性の目線からの店舗の課題を浮き彫りにすることができる。 1回 9店	することで、女性の視点からみえるの店舗の課題等を 指摘することができた。	女性を含めた担当者が有害環境があると思われる店舗への立ち入り調査に参加することで、女性の視点からみえるの店舗の課題等を指摘。立ち入り調査の結果を地域に還元できた。 調査実施回数 1回 / 調査実施店舗数 8店	А	学校教育課

主要課題12 女性の健康の増進と福祉の向上

施策の	向 事業名		平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	講演会・研修会の実施	講演会・研修会を開催し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念の普及・浸透を図る。		講座「身体の中からキレイになろう!」 ①「更年期」イキイキ過ごし、楽々乗り切る更年期! ②「性感染症・子宮頸がん・乳がん」検診で自分の 身体を守ろう! (各全3回 延べ参加者29名)		市公式IP内にリプロダクティブ・ヘルス/ライツのページを新たに作成し、市関係機関で実施しているリプロに関する実施事業等の掲載を行った。 2講座 ・骨盤矯正ヨガ講座 3回実施 延べ参加者 56名 ・リフレッシュヨガ 3回実施 延べ参加者 79名		男女共同参画課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
12-1 リプロダクティン ライツに表づ いた施策の 推進	エイズ対策推進事業	わが国におけるHIV感染者、エイズ患者は増加傾向であり、積極的な予防啓発活動な重要である。特に若年層への重点的な普及活動が必要である。また、感染を知るために、HIV抗体検査を受けて早期発見をすることが治療効果があり、二次感染を予防する。(平成14年度~)		・即日IIV抗体検査 第1・2・3月曜日:279名 休日:25名(再掲) ・エイズ相談 電話・13代・来所:279件 ・エイズ研修会 ①教育実習生17名 ②東立平域高校61名 ③東立高円高校70名 窓発活動 ①HIV検査普及週間に関わるポスター・パンフレットの配布 配布先:高校・大学・専修学校等71か所 街頭キャン・パテス良駅にて啓発グッズ等配布300 個 ②世界エイズデーに関わるポスター・パンフレットの配布 配布先:医療機関・助産所・薬局・中・高等学校・大学・専 修学校等430か所 街頭キャン・ペーン・JR奈良駅にて啓発グッズ等配布300 個 ②がネル展示 場所:奈良市役所、パンフレット配布約100部		- 即日IIV抗体検査第1・2・3月曜日:312名、休日・夜間:40名(再掲) ・エイズ相談電話:9件、・エイズ研修会①教育実習生15名・文化祭でのエイズコーナー①県立平城高校約100名 ②県立高門高校約80名③県立西の京高校320名、県立朱雀高校約100名 ・啓発活動①IIV検査普及週間に関わるポスター・パンプレットの配布配布先・高校・大学・専修学校等412か所、保健所周辺店舗11店舗②世界エイズデーに関わるポスター・パンプレットの配布、配布先:医療機関・助産所・薬局・中・高等学校・大学・専修学校等412か所、保健所周辺店舗11店舗③パネル展示場所:奈良市役所、パンプレット配布約100部	А	保健予防課 •
	性に関する学習指導の充 実	理科教育や保健教育担当者の研修を推 進し、各学校における性教育の充実を図 る。	小·中·高 平均合計授 業数 35	・小学校・中学校・高等学校における性に関する授業時間数	・小学校・中学校・高等学校における性に関する授業時間数	・小学校・中学校・高等学校における性に 関する授業時間数 	А	保健給食課
	頭部MRI検査助成	国民健康保険の被保険者の健康管理対 策として、40歳から74歳の人で特定健康 検査を受診した人のうち、希望者に対して 頭部MRI検査の助成をする。		721人(男291人 女430人)	1,019人(男411人 女608人)	717人(男315人 女402人)	А	国保年金課
	乳児家庭全戸訪問(こんに ちは赤ちゃん) 事業	助産師等の訪問員が生後4カ月未満の乳 児を育てる家庭を訪問(原則一回)し、出 産後の母親が直面する様々な不安や悩 みを傾聴し、子育てに関する情報提供を 行う。(平成22年度~)	可能な限り対 象家庭を全戸 訪問	家庭訪問数:1,909件 予算額:5,600千円 決算額:5,558千円	家庭訪問数: 1,942件 予算額: 6,800千円 決算額: 5,881千円	家庭訪問数:1,737件 予算額:7,400千円 決算額:5,871千円	А	子育て相談課
	養育支援訪問事業	こんにちは赤ちゃん訪問の後も、継続して 養育に関する相談・助言が必要な家庭には、保健師等の支援員が家庭訪問を行う。(平成22年度~)	随時	対象家庭数:11件 延訪問回数:87回 予算額:700千円 決算額:393千円	対象家庭数:5件 延べ訪問回数:93回 予算額:700千円 決算額:417千円	対象家庭数:21件 延べ訪問回数:98回 予算額:660千円 決算額:231千円	A	子育で相談課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
12-2	母親教室	妊娠16週以降の初妊婦に、1回目は夫婦等で参加してもらい、妊娠・出産・育児についての講義、2回目は歯科健診・歯と栄養についての講義など正しい知識の普及を図る。(昭和63年度~)	年間12回(3 日間で1コー ス) 妊婦 延900人 夫300人	・年間13回(2日間で1コース) 受講者数:妊婦延 516人 夫 235人 祖父母等 25人 ※奈良県親支援プロジェクトのモデル事業を10月に 実施 予算額:423千円 決算額:431千円	年間12回(2日間コースで1コースを1回・3日間で1 コースを11回実施) 受講者数:(妊婦延)669人・(夫)222人・祖父母等 13人 * 奈良県親支援プロジェクトプログラムを取り入た内容で実施 予算額:423千円 決算額:508円	実施回数:132回	А	健康增進課
ライフステージに応じた健康管理の推進	妊産婦·新生児訪問指導	妊産婦の健康管理や新生児期の発育・ 栄養・環境等について適切な指導を行う ため、助産師及び保健師が必要に応じて 訪問を行う。(平成9年度~)		妊婦(延べ)40人 新生児·産婦(延べ)840人 予算額:2,800千円 決算額:853千円	妊婦(延べ)76人 新生児·産婦(延べ)1,063人 予算額:2,600千円 決算額:1,300千円	・相談者数(延) 健康増進課:2,228人(電話相談609人を含む) 西部相談室: 759人 公民館巡回:1,223人 ・おやこブチ講座 実施回数:53回 参加人数:1,027人 予算額:7,900千円 決算額:7,251千円	А	健康增進課
	未熟児訪問指導	未熟児を対象に訪問を行い、保護者の育 児不安の解消を図るとともに、医療との連 携を図りながら適切な支援を行う。(平成 14年度~)		訪問件数:173件 予算額:100千円 決算額:80千円	訪問件数:121件 予算額:127千円 決算額: 70千円	訪問件数:135件 予算額:81千円 決算額:67千円	А	健康増進課
	4か月児健診	生後4か月児に対して、身体発育・運動発達・栄養状態等を診査し、乳児の健康の保持及び増進を図るとともに、育児不安の軽減、直待の予防を図ることを目的に、指定の医療機関にて個別健診を実施する。(平成9年度~)	受診率 98.0%	対象者: 2, 715人 受診者数: 2, 634人 予算額: 13, 564千円 決算額: 13, 227千円	対象者:2,684人 受診者数:2,602人 予算額:13,673千円 決算額:13,064千円	対象者:2,631人 受診者数:2,559人 予算額:13,211千円 決算額:12,849千円	A	健康増進課
	1歳7か月児健診	1歳7~8か月児を対象に、医師及び歯科 医師などによる総合的な健康診査を行 い、疾病、障がい、発達の遅れなどを早期 に発見し、適切な指導を行うともに、生 活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、そ の他育児に関する指導を行い、子どもの 心身の安らかな発達の促進と育児不安の 軽減を図ることを目的に集団健診を実施 する。(昭和53年度~)		実施回数: 45回 対象者数: 2,812人 受診者数: 2,578人 予算額: 5,706千円 決算額: 5,592千円	実施回数: 45回 対象者数: 2,746人 受診者数: 2,531人 予算額: 5,702千円 決算額: 5,596千円	実施回数:45回 対象者数:2,693人 受診者数:2,500人 予算額:5,881干円 決算額:5,869千円	А	健康増進課
	1歳7か月児健診・3歳6 か月児健診後の発達支援 教室(きしやぼつぼ教室)	健診後(1歳7か月児健診・3歳6か月児健診)の事後指導の場として開催。遊びやグループワークを通じて子どもの発達や適切な関わり方を学び、育児不安の軽減につなげることを目的とする。(平成3年度~)		実施回数 18回 相談者 217組 予算額:496千円 決算額:458千円	実施回数 21回 相談者数: 308組 予算額 496千円 決算額 243千円	実施回数:21回 相談者数:300組 予算額:447千円 決算額:336千円	А	健康増進課
	フッ化物塗布	むし歯予防の効果的な手段及びかかりつけ歯科医を持つきっかけづくりとして、2歳8か月~3歳0か月児を対象にフッ化物塗布を実施する。併せて歯科健診、歯みがき指導も実施する。(昭和42年度~)		実施回数:12回 塗布者数:753人 予算額:825千円 決算額:811千円	実施回数:12回 塗布者数:761人 予算額:821千円 決算額:800千円	実施回数:12回 塗布者数:679人 予算額:821千円 決算額:802千円	A	健康増進課
	3歳6か月児健診	3歳6~7か月児を対象に、医師及び歯科 医師などによる総合的な健康診査を行 い、発育状態、栄養の良否、疾病、障が い、発達の遅れなどを早期発見し、適切 な指導を行い、子どもの心身の安らかな 発育発達の促進と育児不安の軽減を図 ることを目的に集団健診を実施する。(平 成9年度~)		実施回数: 45回 対象者数: 2,866人 受診者数: 2,474人 予算額: 6,301千円 決算額: 6,160千円	実施回数: 45回 対象者数: 2, 777人 受診者数: 2, 413人 予算額: 6, 330千円 決算額: 6, 177千円	実施回数:45回 対象者数:2,835人 受診者数:2,488人 予算額:6,614干円 決算額:6,580干円	А	健康增進課

事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当
4歳6か月児発達相記事後指導	4歳6か月児発達相談会後の個別等による日常生活や遊びについての指導を行う。(平成23年度~)		実施回数 18回 相談者数 19人(実) 34人(延べ)	H23年度で終了	H23年度で終了	B 23年度で終了	健康増進
療育指導事業	長期にわたり療育を必要とする児に対し、 相談や訪問、関係機関との調整などを行い、日常生活における健康の保持増進及 び育児不安の軽減を図る。また、療育 サークルへの支援を行う。(平成14年度 ~)		支援対象者数 40人 支援延べ回数 174回 支援サークル数 3 支援回数 36回 予算額:60千円 決算額:32千円	支援対象者数 52人 支援延べ回数 165人 支援サークル数 3 支援回数 36回 支援函数 36回 予算額:55千円 決算額:33千円	支援対象者数:45人 支援延べ回数:254人 支援サークル数:3 支援回数:36回 予算額:44千円 決算額:34千円	А	健康増進
各種健(検)診相談	がん・脳卒中・心臓病などの生活習慣病 予防対策の一環として、これらの疾患の 早期発見、早期治療を目的として健康診 査、胃がん検診、肺がん検診、子宮がん 検診、乳がん検診(マンモグラフィ検診合 む)、大腸がん検診、骨粗しょう症検診、 歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査を実施 した。		・健康診査・大腸がん検診・ 受診者数: 172人 受診者数: 30,535人 受診者数: 2,755人・脂がん検診・肝炎ウイルス検査・・歯周病疾患検診・・骨粗鬆症検診・・骨粗鬆症検診・・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・乳がん検診・発き者数: 1,809人 受診者数: 9,653人	・健康診査 ・大腸がん検診 ・胃がん検診 ・脂がん検診 ・肝炎ウイルス検診 ・歯周病疾患検診 ・子宮がん検診 ・骨粗鬆症検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診 ・乳がん検診	・健康診査	А	健康増進
健康手帳の交付	40歳以上の者を対象として特定健診・保 健指導等の記録、その他健康の保持のた めに必要な事柄を記載し、自らの健康管 理に役立ててもらうため交付する。(平成 14年度~)	年間 3,000冊交 付	交付者数2, 053人 予算額:215千円 決算額:193千円	交付者数2, 490人 予算額:189千円 決算額:193千円	交付者数:1,886人 予算額:189千円 決算額:197千円	А	健康増進
訪問指導	生活習慣病の予防・保健・医療・福祉サービスの活用方法に関する相談・調整を実施する。(平成14年度~)	年間 50件	訪問指導 延25人	訪問指導 延48人	訪問指導:延25人	А	健康増進
スポーツ教室・講習会開催	市内の9地域で青少年から高齢者を対象としたスポーツ教室及びスポーツ講習会を開催する。(平成3年度~)	参加者 1800人	各スポーツ教室の開催回数を5回から3回に変更 し、気軽に参加・体験できるようにした。 9教室 9講習会 参加者数:795人 予算額:405千円 決算額:405千円	平成24年度は、地域以外の方との交流を図る講習会を実施した。9教室・1講習会参加者数:707人 予算額:315千円 決算額315千円	平成25年度は、地域以外の方との交流を図る講習会 を実施した。 9教室・1講習会 参加者数: 793人 予算額: 283千円 決算額283千円	А	スポーツ打
結核対策推進事業	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65才以上の市民を対象に結核住民検診を実施する。また、結核予防のための普及啓発事業を実施する。(平成14年度~)		・結核住民健診 116名 場所:奈良市総合検査センター 実施日:毎月第3月曜日 ・結核予防週間キャンペーン パネル展示等 場所:奈良市役所、奈良市保健所教育総合セン ター パンプレット配布 500部 ・研修会 ①高齢者施設研修会 参加者55名 場所:奈良市総合医療センター ②医師研修会 参加者102名 場所:奈良県医師会館等		・結核住民健診 毎月第3土曜日:152名 ・結核予防週間キャンペーン ①パネル展示等場所: 奈良市役所、奈良市保健所教育総合センター②パン フレッ配布 医療機関、高齢者施設、学校、市民等 約5200部 ・結核研修会①奈良市老人福祉施設連絡協議会 約20名②医師研修会 123名	A	保健予防
地域における健康づく 室 (母子保健)	正しい生活習慣の確立など健康づくりに関する健康教育を行う。		実施回数 4回 参加者数 102人	H23年度で終了	H23年度で終了	B 23年度で終了	健康増進
すくすく相談	乳幼児の心の発達についての相談に応じることにより、子どもの心身の安らかな発達の促進と育児不安の軽減を図る。(平成10年度~)		相談者数:23人	相談者数:29人	相談者數:12人	А	健康増進

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	5か月児離乳食教室(ばくばくばく教室) 10か月児むし歯予防・育児の教室(きらきら教室)	5か月児とその保護者を対象に離乳食教室(ばくばく教室)で離乳食・子どもの成長・子育で等について講義、10か月児とその保護者を対象にむし歯予防・育児の教室(きらき)教室)で歯の手入れ・発達・生活リズム等の講義と実習を行うことで、発育・発達の支援を行う。(平成20年度~)		平成20年度より実施 実施回数・参加者数 5ヶ月児ばくばく教室 24回・850組 10ヶ月児きらきら教室 24回・741組 予算額:57干円 決算額:15干円	実施回数・参加人数(組) 5か月児 ぱぱぱ秋室 24回・867組 10か月児きらきら教室 24回・773組 予算額 56千円 決算額 15千円	5か月児 ぱぱぱく教室 実施回数:24回 参加者数:820組 10か月児 きらきら教室 実施回数:24回 参加者数:789組 予算額:206千円 決算額:189千円	А	健康増進課
12-3 健康作りに関 する情報提 供と相談窓 口の充実	発達相談	健診後(1歳7か月児健診、3歳6か月児 健診)、精神発達面、言語面において事 後指導の必要な幼児に対し、心理判定員 が発達検査を行い、早期に適切な相談を 行うともに、必要に応じて医療、療育に つなげ、発達を援助するために実施する。 (昭和62年度~)		相談数:336人	相談数:357人	相談者数:296人	А	健康增進課
	保育園歯科指導	乳歯のむし歯予防と健全な永久歯の発育 をめざし、保育園児及び保護者を対象に 歯科指導実施する。		実施回数:22回	実施回数:21回	実施回数:21回	А	健康増進課
	歯っぴい教室	2歳児とその保護者を対象に、むし歯予防 のために歯科保健の知識・技術の習得と 望ましい生活習慣について学ぶ機会とす るために行う。(平成9年度~)		実施回数:3回 参加者数:98人 予算額:194千円 決算額:162千円	H23年度で終了	H23年度で終了	B 23年度で終了	健康増進課
	食生活改善推進員養成講座	「自らの健康は自らの手で守る」という意識を高め、それを食生活の改善を通じて実践できる住民を養成する。(平成14年度~)	会員数150人	実施(隔年開催) 実施回数 8回 受講者数40名 /修了者数35名	未実施(隔年開催)	未実施(隔年開催)	А	健康増進課
	地域における健康教育・健康相談	公民館等の地域で、中高年に対する生活 習慣病予防のための健康教育・健康相談 を行う。	健康教育 年間延べ3,500 人 健康相談延 べ500人	·健康教育 実施回数:85回 参加者数:延3,194人 ·健康相談 実施回数:237回 参加者数:延447人	·健康教育 実施回数:124回 参加者数:延4,508人 ·健康相談 実施回数:564回 参加者数:延1,269人	·健康教育 実施回数:132回 参加者数:延3,928人 ·健康相談 実施回数:508回 参加者数:延962人	A	健康増進課
	妊産婦·乳幼児健康相談	妊婦の妊娠中の不安や心配事及び乳幼児を持つ保護者の子育でに関する心配事などについて、保健師 助産師等が、保健所や西部会館及び公民館等を巡回し、相談に応じる。(平成21年度~)		·相談者数(延) 健康増進課 783人 西部紀章 598人 公民館等巡回相談 1383人 予算額:10,500千円 決算額:6,373千円	・相談者数(延) 健康増進課:1,125人 西部相談室: 795人 公民館巡回:1,263人 ・おやご子講座 実施回数 29回・参加人数 55 0人 予算額 8,500千円 決算額 4,576千円	・相談者数(延) 健康増進課:2,228人(電話相談609人を含む) 西部相談室: 759人 公民館巡回:1,223人 ・おやこプチ講座 実施回数:53回 参加人数:1,027人 予算額:7,900千円 決算額:7,251千円	А	健康増進課
	生活管理指導員派遣事業	生活管理指導員が調理等の指導・支援を行うことにより、基本的生活習慣の確立と要支援状態への進行を予防する。		延派遣世帯数 818世帯 派遣時間 2,600時間 委託料 5,750,683円	延派遣世帯数 513世帯 派遣時間 1,937.5時間 委託料 4,259,937円	延派遣世帯数 400世帯 派遣時間 1,359時間 委託料 3,027,670円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	生活管理指導短期宿泊事業	介護認定で「自立」判定相当の人を一時的に養護して生活習慣の指導・管理を行い、要支援状態への進行を予防する。		利用人数 4人 利用延日数 27日 委託料 95,380円	利用人数 6人 利用延日数 85日 委託料 291,460円	利用人数 7人 利用延日数 58日 委託料 231,900円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	在宅要介護者紙おむつ等支給事業	要介護度が4~5で、施設に入っていない 方を対象とし、本人及び同居者全員が市 民税所得割非課税の方に、紙おむつ等を 支給する。		支給実人数 246人 年間経費 7,333,688円	支給実人数 205人 年間経費 6,958,571円	支給実人数 212人 年間経費 6,535,856円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	配食サービス事業	施設に入っていない65歳以上の単身世帯などで、本人だけでは調理が困難で低栄養のおそれのある人を対象に、昼食の配達と安否の確認を行う。		配食数 153,506食 月平均利用者 879人 委託料 53,727,100円	配食数 120, 232食 月平均利用者 688人 委託料 42, 081, 200円	配食数 99,568食 月平均利用者 572人 委託料 34,848,800円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	訪問理美容サービス事業	施設に入っていない65歳以上で、傷病等のために理美容所に出向くことが困難な人の居宅に理美容師が訪問し調髪する。		実績 1,625回 委託料 4,062,500円	実績 1,380回 委託料 3,450,000円	実績 1,235回 委託料 3,087,500円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
	日常生活保安用具給付 事業	施設に入っていない65歳以上の単身世帯で、認知症等のために防火の配慮が必要な人に、電磁調理器等を給付する。		電磁調理器 4台 38,640円 自動消火器 2台 42,000円	電磁調理器 3台 28,035円	電磁調理器 4台 37,380円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
12-4 男女共同参 画の視点に 立った高齢 者等の福祉	緊急時在宅高齢者支援 事業	高齢者が日常生活において身体的な緊急事態が生じたとき、速やかに安全を確保できるよう受信センターを通じて協力員に通報し安否を確認する。		設置台数 504台 委託料 6,559,225円	設置台数 454台 委託料 6,064,300円	設置台数 432台 委託料 5,698,161円	А	介護福祉課 (平成24年度より 長寿福祉課)
の充実	万年青年クラブ活動の支援・育成	老後の生活を健全で豊かなものにするため、教養の向上、健康の増進、社会奉仕活動を行うべく結成された老人クラブの活動を支援し、クラブの健全な発展を期する。(昭和38年~)		予算額:26,800千円 決算額:24,902千円 連合会1、地区連合会37、単位クラブ336	予算額:23,730千円 決算額:22,702千円 市連合会1クラブ、地区連合会32クラブ、単位クラブ 323クラブに補助金を交付した。	予算額:25,451千円 決算額:24,112千円 市連合会1クラブ、地区連合会33クラブ、単位クラブ 308クラブに補助金を交付した。	А	長寿福祉課
	長寿お祝い事業	高齢者の長寿を祝福し、高齢者が生きが いと希望をもって明るい生活を送れるよう 激励する。 ・歳末一人暮らし慰問事業(昭和55年 ~)・はり・マッサージ事業(昭和44年~) ・百歳誕生祝事業(昭和54年~)		予算額:2,878千円 決算額:2,979千円 はりマッサージ事業…年2回、延べ108名 百歳誕生日祝事業…69名	予算額:2,910千円 決算額:2,875千円 はり・マッサージ事業…1回実施、延べ52名 百歳誕生祝事業…87名 ※はり・マッサージ事業は平成24年度で終了	予算額: 2,799千円 決算額: 2,840千円 百歳誕生祝事業…76名	АЖ	長寿福祉課
	老春手帳優遇措置	70歳以上の高齢者に「老春手帳」を交付 し、市内バス優待乗車、市内文化財・博 物館等の無料入場その他の優遇措置を 実施することにより、高齢者の社会的活動 範囲を広げるとともに、教養の向上に寄与 し、持って高齢者の福祉の増進を図る。 (昭和45年~)		予算額:376,532千円 決算額:350,700千円 市内寺社·文化施設の無料·割引入場19箇所	予算額:359,300千円 決算額:350,190千円 老春手帳優待乗車証は、交付者数47,694人に対し て25,685人の高齢者が利用した。	予算額: 378,200千円 決算額: 375,878千円 老春手帳優待乗車証は、交付者数50,885人に対し て26,192人の高齢者が利用した。	А	長寿福祉課
	老人福祉センターの充実	老人に対し各種の相談に応じるとともに、 健康の増進、教養の向上およびレクリェーションのための便宜を総合的に供与し、老 人福祉の増進を図る。(昭和43年~)		予算額:140,259千円 決算額:131,692千円	予算額:129,933千円 決算額:124,506千円 年間利用者数(4センター合計)181,417人	予算額:130,006千円 決算額:127,670千円 年間利用者数(4センター合計)176,557人	А	長寿福祉課
	老人憩の家の活用	健康の増進及び交流の場として、地域に 密着し、気軽に使える老人憩いの家の活 用を図る。(昭和47年~)		予算額:8,905千円 決算額:8,266千円	予算額:8,000千円 決算額:7,874千円	予算額:7,940千円 決算額:7,825千円	А	長寿福祉課
	シルバー人材センター補助事業	シルバー人材センターに対し事業補助を 行うことにより、事業内容等の拡充や高齢 者の就業機会の拡大を図る。		登録会員数:女性 588名 男性 1,468名	登録会員数 : 女性 620名 男性 1,523名	登録会員数 : 女性 608名 男性 1,421名	А	商工労政課

主要課題13 男女共同参画を目指す意識変革の促進・浸透

施策の方向	争耒內谷	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	女性の問題を含む様々な人権問題の理解を進めるための事業を実施する。		め、啓発事業を実施した。 「人権を確かめあう日」記念集会 参加者数 251 人 「人権ふれあいのつどい」 参加者数 256人 「人権総手紙コンテスト」 応募点数 288点 「ハートフルシアター」 参加者数 146人 人権市民講演会 参加者数 98人	め、啓発事業を実施した。 「人権を確かめあう日」記念集会 参加者数:300人 「人権を確かめあう日」記念集会 参加者数:161人 「ハートフルシアター」 参加者数:123人 人権市民講演会 参加者数:295人 ※「原爆と戦争展一長畸の記録ー」 参加者数:749	女性の問題を含む様々な人権問題の解決を図るため、啓発事業を実施した。 「人権を確かめあう日」記念集会参加者数:176人「人権ふれあいのつどい」参加者数:165人「ハートフルシアター」参加者数:300人人権市民講演会参加者数:329人人権内民講演会参加者数:329人民権院を引き、安性の人権問題に関する展示を1回開催した。	A ※のみB (24年度で終 了)	人権政策課

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年度 目標数値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B O年度で終了	担当課
	図書・視聴覚教材の整備 及び活用	女性の人権問題に関する図書・資料・視聴覚教材の整備及び活用を図る。		所蔵図書(女性の人権問題) 90冊 所蔵ビデオ(女性の人権問題) 15本	所蔵図書(女性の人権問題) 90冊 所蔵ビデオ(女性の人権問題) 15本	所蔵図書(女性の人権問題):90冊 所蔵ビデオ(女性の人権問題):15本	А	人権政策課
13-1 固定的な性 別役割分担	図書の整備及び活用	男女共同参画社会作りのための啓発図 書を充実し貸し出しを行う。		婦人·女性史·男女同権 794冊	婦人·女性史·男女同権 809冊	婦人・女性史・男女同権 865冊	А	男女共同参画課
意識をなくす世論の醸成・浸透	男女共同参画に関する市民意識調査	男女共同参画に関する市民意識調査を 定期的に実施し、調査結果を今後の政策 に活かす。		平成21年7月に実施。(5年毎に調査する予定)	平成21年7月に実施。 平成24年度は実施せず	平成21年7月に実施。 平成25年度は実施せず	А	男女共同参画課
	男女共同参画情報誌の 発行	男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるため、情報誌「和音・なら」の発行により、時代の変化に即した情報を提供する。		男女共同参画情報誌「和音・なら」発行 5,000部×1回	男女共同参画情報誌「和音·なら」発行 5,000部×1回	男女共同参画情報誌「和音・なら」発行 3,000部×1回	А	男女共同参画課
	講座・講演会等の開催	性別役割分担意識を始めとする固定的な性差感の解消と男女平等意識の定着に向けた講座・講演会等を開催する。		女性輝き講演会 (実施日:2月12日 演題:女性達の思いを映画に 託して 講師:松井久子氏 延べ参加者:67名)	かがやき講演会 (実施日:平成25年2月23日 演題:「前向きにまるく 考える」講師:落語家 林家花丸氏 参加者:38 名) お天気キャスター正木明さんに聞いてみよう「楽しい イクメン生活のコツ」 ※台風接近のため、中止 2講座 ・夏休み!父子で楽しくクッキング(全1回 参加者10 組) ・・子から始める男メシ!男の料理教室(全3回 延	シンボジウム、イマドキ家族、の子育で〜笑ろてるパパママがええやん〜 (実施目:平成26年2月2日 講師:北京五輪メダリスト朝原宣治他2名、参加者:86名) 2講座 ・夏休みの思い出に☆父子(おやこ)クッキング(全1回、参加者1組) ・男の料理教室(全3回、延べ参加者79名)	А	男女共同参画課
13-2 男女共同参 画の視点からの慣習・し きたりの見直 し	人権啓発事業の実施	女性の問題を含む人権問題に対する理解を深めるための啓発事業を実施する。		各人権文化センターにおいて人権啓発事業を実施 した。 ・北、中、東:「差別をなくす強調月間 3センター合 同事業」参加者数 132人 ・南:「差別をなくす 杏・人権を考える集い」参加 者数 99人	各人権文化センターにおいて、人権啓発事業を実施 した。 ・北: センターだよりを12回発行した。 ・中:「佐保ふれあいシアター」映画会 参加者数 15人 ・東:識字教室 他 参加者数2.630人 ・南:「差別をなくす 杏・人権を考える集い」参加者 数98人	各人権文化センターにおいて、人権啓発事業を実施 した。 ・北:センターだよりの発行 12回 ・中:「佐保ふれあいシアター」映画会 参加者数13人 ・東:織字教室 他 参加者数2.256人 ・南:「差別をなくす 杏・人権を考える集い」参加者 数105人	А	人権文化センター
	女性の人権尊重の更なる啓発	古くから伝わる伝統文化の情習や偏見を ジェンダーにとらわれない視点でみつめ、 女性の人権尊重の意識作りを図る。		女性輝き講演会 (実施日:2月12日 演題:女性達の思いを映画に 託して 講師:松井久子氏 延べ参加者:67名)	あすなら市民講座 ・地婦連「メディアと女性」(開催日:12月4日 講師: NHK奈良放送局長 泉谷 八千代氏 参加者:72 名)	あすなら市民講座 ・地域婦人団体連絡協議会「平和と女性」(開催日: 12月3日: 講師・歌手・講談師 川本 三栄子、参加者 76名) ・奈良市国際婦人交流協会「台湾女性とジェンダー」 (開催日:9月28日、講師:奈良女子大学 野村 鮎 子氏、参加者:25名)	А	男女共同参画課
	男女共同参画情報誌の 発行(再掲)	男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるため、情報誌「和音・なら」の発行により、時代の変化に即した情報を提供する。		男女共同参画情報誌「和音・なら」発行 5,000部×1回	男女共同参画情報誌「和音・なら」発行 5,000部×1回	男女共同参画情報誌「和音・なら」発行 3,000部×1回	А	男女共同参画課

主要課題14 庁内推進体制の整備・充実

施策の方向	事業名		平成27年 度目標数 値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
共同参画推 進庁内連絡 会議の充実	男女共同参画推進審議会 及び男女共同参画推進庁 内連絡会議の開催	奈良市男女共同参画推進審議会及び 庁内連絡会議を充実し、全庁的に男女 共同参画社会の実現に取り組む。		(1)正副会長の選出について (2)男女共同参画計画について (3)その他(平成22年度奈良市男女共同参画センター概要等について) ・DV対策庁内連絡会議(3月26日開催 名出席) (1)DV対策及び被害者支援基本計画実施計画 について (2)その他	DV対策庁内連絡会議(11月26日開催)	奈良市男女共同参画推進審議会(6月26日開催) 奈良市DV対策庁内連絡会議(12月24日開催)	А	男女共同参画課
		定期的に男女共同参画計画実施計画の進捗状況を調査し、効果的な計画の遂行を図る。		奈良市男女共同参画計画実施計画進捗状況調査 (6月13日庁内担当課29課へ照会)	奈良市男女共同参画計画実施計画進捗状況調査 (7月21日庁内担当課へ照会)	奈良市男女共同参画計画実施計画進捗状況調査(7月10日庁内担当課へ照会)	А	男女共同参画課
14-3 職員研修の 充実	職員研修の実施	職員を対象に、研修や講演会を実施する。		職員向けDV研修(3回実施 参加者438名) ・第1回 平成23年7月21日 ・第2回 平成23年10月3日 ・第3回 平成24年2月2日	職員向けDV研修(4回)参加者 772名	職員向けDV研修(2回、参加者 381名)	А	男女共同参画課

主要課題15 地域における環境整備

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年 度目標数 値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	男女共同参画関連資料収 集整備	男女共同参画に関する図書·資料を整備し活用する。		婦人·女性史·男女同権 794冊	婦人·女性史·男女同権 809冊	婦人·女性史·男女同権 865冊	А	男女共同参画課
	男女共同参画を推進するための研修会への派遣	男女共同参画社会実現をめざした研修会等に関係職員を参加させる。		·日本女性会議(松江市 平成23年10月14~15日 2 名) ·全国都市会議(姫路市 平成23年11月17~18日 2 名) ·市町村男女共同参画女性行政担当課長会議 (糧原市 平成23年8月4日 1名) ·市町村男女共同参画行政担当職員研修会 (橿原市 平成24年2月9日 1名)	日本女性会議(仙台市) 全国都市会議(金沢市) 市町村男女共同参画女性行政担当課長会議(橿原市)	日本女性会議(阿南市) 市町村男女共同参画女性行政担当課長会議(橿原 市)	A	男女共同参画課
		男女共同参画に関する市民意識調査を 定期的に実施し、調査結果を今後の政 策に活かす。		平成21年7月に実施。 平成23年度は実施せず(5年ごと実施予定)		平成21年7月に実施。 平成25年度は実施せず	А	男女共同参画課
15-1 調査・研究・ 情報収集・提 供の充実	市町村男女共同参画推進連絡協議会	県下の市町村が県と連携し、男女共同参画行政の円滑かつ効果的な施策の推進 を図る。		奈良県市町村男女共同参画推進連絡協議会 総会(葛城市) 役員会(程原市) 視察研修(京都市) ※課より各会1名出席	奈良県市町村男女共同参画推進連絡協議会 総会(宇陀市)	奈良県市町村男女共同参画推進連絡協議会総会 (奈良市)あすならにて開催	А	男女共同参画課
	女性問題関連資料収集整 理	女性問題に関する図書·資料を整備する。		・事業の推進にかかる書籍・資料を整備し、日本十進分類法により区分し配架した。 【家庭・性問題など分類番号:367】 中央図書館 1,161冊 西部図書館 762冊 北部図書館 536冊 (※内)婦人、女性史、男女同権など分類番号:3 67・2は 中の図書館 358冊 西部図書館 244冊 北部図書館 121冊	[家庭・性問題など分類番号:367] 中央図書館 1,179冊 西部図書館 771冊 北部図書館 560冊	- 事業の推進にかかる書籍・資料を整備し、日本十進 分類法により区分し配架した。 [家庭・性問題など分類番号:367] 中央図書館 765冊 北部図書館 559冊 (※内)婦人、女性史、男女同権など分類番号:36 7. 21は 中央図書館 358冊 西部図書館 244冊 北部図書館 122冊	А	中央·西部·北部 図書館

施策の方向	事業名	事業内容	平成27年 度目標数 値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	今後の方向性 A 継続実施 B 〇年度で終了	担当課
	の結成と育成	日常生活の中で生涯にわたりスポーツに 親しみ、連帯感を深め、健康で明るい生 活が送れるよう、地域スポーツクラブや、 住民の誰もが参加できる総合型スポーツ クラブ結成促進や育成を行う。		活動中の地域スポーツクラブの中から平成23年度に、1団体が総合型スポーツクラブの結成を行った。 予算額:1,260千円 決算額:1,260千円	を通して、地域スポーツの振興に努めた。 予算額:126千円	平成25年度は、13団体が地域でのスポーツ大会等を通して、地域スポーツの振興に努めた。 予算額:1,080千円 決算額:1,020千円	А	スポーツ振興課
	文化祭・人権フェスタの開催	人権尊重の精神の普及を図る。		各人権文化センターにおいて、文化祭・人権フェスタを開催した。 ・北:「2011年人権文化フェスタ」参加者数348人 ・中:「佐保ふれあいフェスタ」参加者数2,000人 ・東:「ふれあい人権フェスタ」参加者数2,000人 「スポーツ交流会」参加者数120人 「こころあったかコンサート」参加者数200人 ・南:「杏中文化祭」参加者数777人	各人権文化センターにおいて、文化祭・人権フェスタ を開催した。 ・北:「2012年人権文化フェスタ」参加者数435人 ・中:「佐保ふれあいフェスタ」参加者数185人 ・東:「ふれあい人権フェスタ」参加者数1,600人 「スポーツ交流会」参加者数120人 「こころあったかコンサート」参加者数200人 ・南:「杏中文化祭」参加者数790人	各人権文化センターにおいて、文化祭・人権フェスタを 開催した。 ・北:「2013年人権文化フェスタ」参加者数474人 ・中:「佐保ふれあいフェスタ」参加者数150人 ・東:「ふれあい人権フェスタ」参加者数1,600人 「スポーツ交流会」参加者数110人 「こころあったかコンサート」参加者数200人 ・南:「杏中文化祭」参加者数531人	А	人権文化センター
15-2 市民参画のための体制の整備	市民共催事業の開催	市民グルーブが企画・立案した講座を市と協働で開催する。		あすなら市民講座 ・地場連「いくつになっても輝こう!」 開催日 11月21日 講師 辻-イ子氏 参加者 145名 ・女性ボランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と 葛藤」 開催日 ①平成24年1月25日②平成24年2月8日 講師 宮岡薫氏 参加者 ①35名②34名 ・なら女性ネットワーク「孫育てに上手に関わるコツ」 開催日 平成24年1月26日 講師 津村薫氏 参加者 31名 ・国際ソロブチミストまほろば「絵本といやしのひとと き」 開催日 ①12月7日②平成24年2月15日 参加者 ①11名②13名	・地爆連「メディアと女性」 開催日 12月4日 講師 NHK奈良放送局長 泉谷 八千代氏 参加者 72名 ・女性ボランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と 葛藤1」 開催日 ①平成24年9月26日②平成24年10月10 日講師 宮岡薫氏 参加者 ①33名②27名 ・女性ボランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と 葛藤2」 開催日 ①平成25年1月30日②平成25年2月13日 講師 宮岡薫氏 参加者 ①51名②42名 ・なら女性ネットワーク「世界で一冊手作り絵本セミナー」 開催日 平成25年3月9日 講師 山岸 清太郎氏 参加者 11組(26名)	あすなら市民講座 ・地場連「平和と女性」 開催日 平成25年12月3日 講師 歌手・講談師 川本 三栄子氏 参加者 76名 ・女性ボランティア交流協会「日本書紀にみる男女の愛 と葛藤」 開催日 ①平成25年10月17日②平成25年11月2 1日 講師 宮岡薫氏 参加者 ①49名 ②49名 ・女性ボランティア協会「日本書紀にみる男女の愛と葛藤の道を歩く」 開催日 平成25年5月23日 講師 宮岡薫氏 参加者 18名 ・奈良市国際婦人交流協会「台湾女性とジェンダー」 開催日 平成25年9月28日 講師 宮岡薫氏 参加者 25名 ・奈良市国際婦人交流協会「台湾女性とジェンダー」 開催日 平成25年9月28日 講師 発及子大学 野村 鮎子氏 参加者 25名 ・奈良市あすなら起業の会やまとなでしこ「願いを叶える 脳の作り方」 開催日 平成25年10月26日 講師 脳力研究家 浦谷 裕樹氏 参加者 55名	А	男女共同参画課
	託児付講座の開催	講座・講演会等に子育て期の女性が参加できるよう託児を行う。		主催・共催事業において託児を行った。 8講座 託児利用者延べ53名	主催・共催事業において託児を行った。 20講座 託児利用者延べ65名	主催・共催事業において託児を行った。 17講座 延べ託児者数142名	А	男女共同参画課
	市民参画の環境づくり	男女共同参画についての理解を深めるため、多様な事業を実施する。		女性問題相談事業、各種講座(14講座)、講演会 (2講演会)、あすなら市民講座(4講座)等を実施		女性問題相談事業、各種講座、講演会、あすなら市民講座等を実施	А	男女共同参画課
	児童館事業の充実	身近な子育て支援の拠点施設として市 民参画のもとに、より開かれた児童館をめ ざす。	運や容直て拠の図営事等し、支点充りまた。	利用者数 古市児童館:8,005人 横児童館:8,790人 東之阪児童館:15,381人 大宮児童館:9,498人	横井児童館: 10,159人	利用者数 古市児童館:9,240人 横児里童館:9,032人 東之阪児童館:12,237人 大宮児童館:8,062人	А	子ども育成課
	地域に開かれた幼稚園づくりの推進	地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や子育でに孤立感・不安感を 抱えている保護者のために、園庭・園舎 の開放や未就園児の親子登園を実施する。	全園とも、 月2回以上 実施	・全園で実施。(各園の実態に応じた内容で実施) ・未就園児保育実施(月1回〜約月8回【週2回】)で は、親子登園の保育とともに、未就園児の保護者の 悩み相談の実施		・全園で実施(各園の実態に応じた内容で実施 ・未就園児保育実施(月1回〜約月8回【週2回】)では、親子登園の保育とともに、未就園児の保護者の悩み相談の実施	А	学校教育課 (平成25年よりこ ども園推進課)